

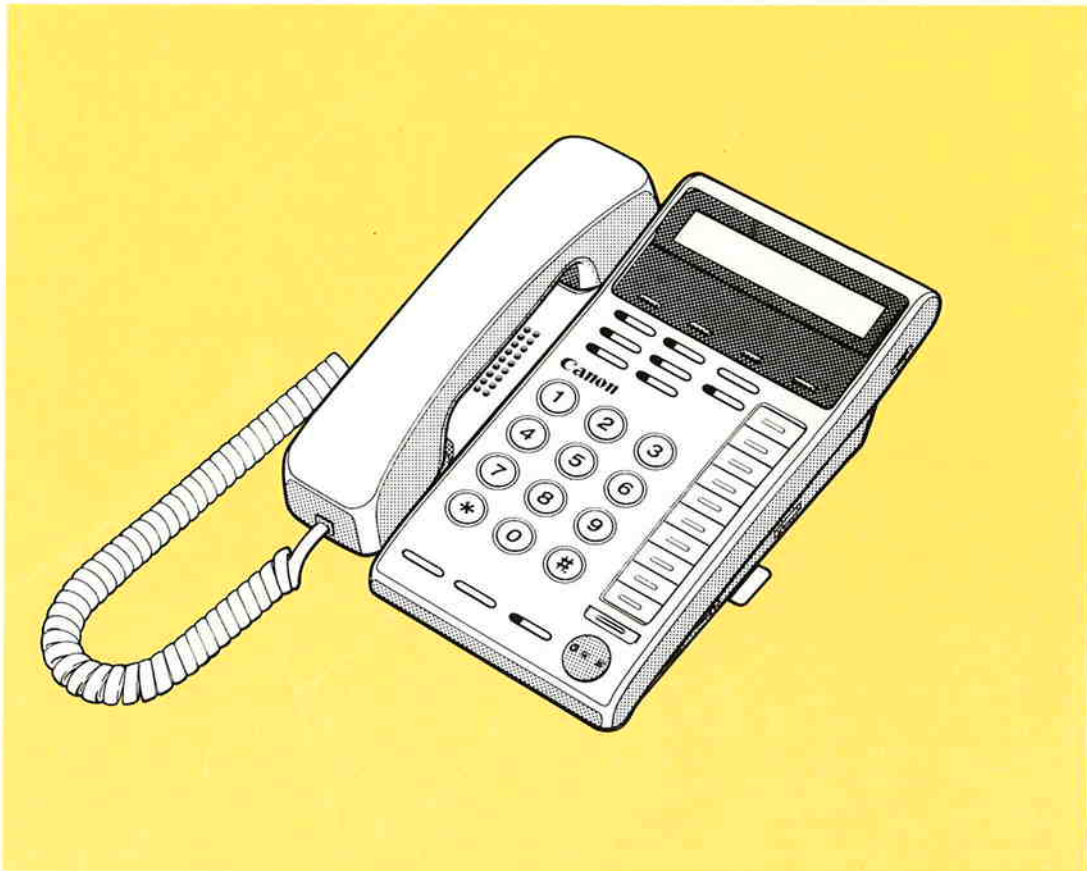
TELEPHONES

Canon

CANON DIGITALPHONE SYSTEM

DIGI 619

使用説明書



このたびは《キャノン・デジタルホン・システムDIGI 619》をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。

《キャノン・デジタルホン・システムDIGI 619》を正しくご使用いただくために、この使用説明書をよくお読みいただきますよう、お願い申し上げます。

もくじ

PART1 ご使用の前に

● システムの概略	7
● 添付品の確認	9
● 電源について	10
● 設置場所について	10
● お手入れについて	10
● 届出と手続	11
● 接続のしかた	12
● 壁かけにする場合	13
● ワンタッチダイヤルシートの取付けかた	13
● 各部の名称とはたらき	14
・ 主装置	14
・ 電話機	15
● ページの見かた	19

PART2 外線での使いかた

電話をかけるとき

受話器をとってかけます (外線発信1)	21
受話器をとらずにかけます (外線発信2)	22
ボタン1つでダイヤルします (ワンタッチダイヤル)	23
電話番号を短縮します (短縮ダイヤル)	26
最後にかけた相手にボタン1つでダイヤルします (リダイヤル)	29
通話中に電話番号をメモしてあとでかけます (メモダイヤル)	30

空いている外線がないとき

外線の予約をします (外線予約)	31
------------------	----

不在・話し中のとき

本機が自動的に再ダイヤルします (オートリピートダイヤル)	32
-------------------------------	----

電話を受けるとき

外線からかかってきた電話を受けます (外線応答1).....	34
着信音が鳴っていない電話機で受けます (外線応答2).....	34
留守のとき音声メッセージで答えます (留守応答).....	35
音声メッセージを録音します (メッセージ録音).....	36

保留・転送

外線と通話中の電話を保留します (外線システム保留).....	39
自分の電話機だけで保留します (外線自己保留).....	40
転送について.....	41
外線の設定された相手先に自動的に転送します (外線・外線転送1).....	42
外線の相手先に転送します (外線・外線転送2).....	44
近くにいる内線の人に転送します (外線・内線転送1).....	45
離れている内線の人に転送します (外線・内線転送2).....	47
FAXに転送します (FAX転送).....	48

PART3 内線での使いかた

電話をかけるとき

内線へ電話をかけます (内線発信).....	51
音声で相手を出します (音声呼出).....	53
内線の相手を一斉に呼出します (内線一斉呼出).....	54
内線グループの代表へ電話をかけます (内線代表).....	55

不在・話し中のとき

相手の電話機に自分の内線番号を残します (メッセージウェイト).....	56
話し中の相手を出します (話中呼出).....	57
相手が話し中のとき通話が終了しだい呼出します (内線予約).....	58

電話を受けるとき

内線からかかってきた電話を受けます (内線応答).....	60
着信音の鳴っていない電話機で受けます (内線代理応答).....	60

保留・転送

内線と通話中の電話を保留します(内線システム保留).....	61
近くにいる内線の人に転送します(内線・内線転送1).....	62
離れている内線の人に転送します(内線・内線転送2).....	64
外線の相手先に転送します(内線・外線転送).....	65

PART4 外・内線共通の使いかた

3人で通話をします(会議通話).....	67
不在のとき自分に電話がかからないようにします(不在設定).....	68
不在のとき設定した電話に転送します(不在転送).....	70
グループごとに使用する外線を指定します(テナント).....	72
接続されている他の《DIGI 619》に電話をかけます(システム間接続).....	73

PART5 さらに便利な機能

自分の内線番号と端子番号を確認します(内線番号表示).....	77
ダイヤルボタンを押すと音がします(キーイントーン).....	78
トーン信号によって各種サービスを受けます(PB信号送出).....	78
ダイヤラーを使用して電話をかけます(ダイヤラー発信).....	79
電話がかかけられる区域を設定します(サービスクラス).....	81
着信専用の外線を設定します(発信規制).....	82
通話中にかかってきた外線からの電話を知らせてくれます(話中着信).....	83
外線からの電話が1台の電話機に集中してかかるようにします(集中着信).....	84
外線からの電話をFAXに着信させます(FAXスライド着信).....	86
外線からの電話を直接内線にかかるようにします(ダイヤルイン).....	87
外線ごとに、受けることのできる電話機を設定します(ダイレクト・イン・ライン).....	88
外線ごとに、着信音の鳴る電話機を設定します(着信鳴動指定).....	90
外線ごとに、着信音の音を変えます(外線別着信音).....	91
警告音を出して長電話を防ぎます(長時間通話警報).....	91
警告音を出して長時間の保留を防ぎます(保留警報).....	92
着信音を外部のスピーカから出します(ベル拡声).....	92
保留メロディを選択します(保留メロディ選択).....	93
外部音源の保留音を流します(外部保留音).....	94
受話器を置いたまま通話できます(ハンズフリー通話).....	95
機能ボタンや操作をワンタッチダイヤルボタンに登録します(フレキシブルアサイン).....	97

ファクシミリ通信網を利用します (FAX無鳴動着信)	100
外部の着信モードを一時的に変更します (着信モード切替)	101
夜間/休日用に着信モードを切替えます (夜間/休日切替)	102
ワンタッチ/短縮ダイヤルの登録内容をFAXに出力します (ワンタッチ/短縮ダイヤル出力)	104

PART6 アラーム・ドアホン・構内放送・電卓

指定の時刻に音を鳴らします (アラーム)	109
ドアホンの相手と通話します (ドアホン)	111
センサーと連動して警告音を出します (センサーアラーム)	113
外部スピーカを使って放送します (構内放送)	114
ディスプレイを使って計算します (電卓)	115
・各部の名称とはたらき	116
・計算のしかた	117
・10桁を越えた計算について (オーバーフロー)	120

PART7 料金計算と料金表示

通話中の時間と料金を表示します (通話料金表示)	123
使用料金の累計をメータ表示します (料金メータ表示)	124
使用料金を集計します (料金集計表示)	125
使用料金をFAXに出力します (料金集計出力)	131
通話明細をFAXに出力します (通話明細出力)	133

PART8 FAXの送受信のしかた (Eタイプ電話機)

FAXを受けるとき

通話後FAXを呼出して自動受信を行います (自動受信1)	139
FAXを常に自動受信するようにセットします (自動受信2)	140
通話後FAXの手動受信を行います (手動受信)	141

FAXを送るとき

FAXを操作して送信を行います (自動送信)	143
通話後FAXの手動送信を行います (手動送信)	144

PART9 その他

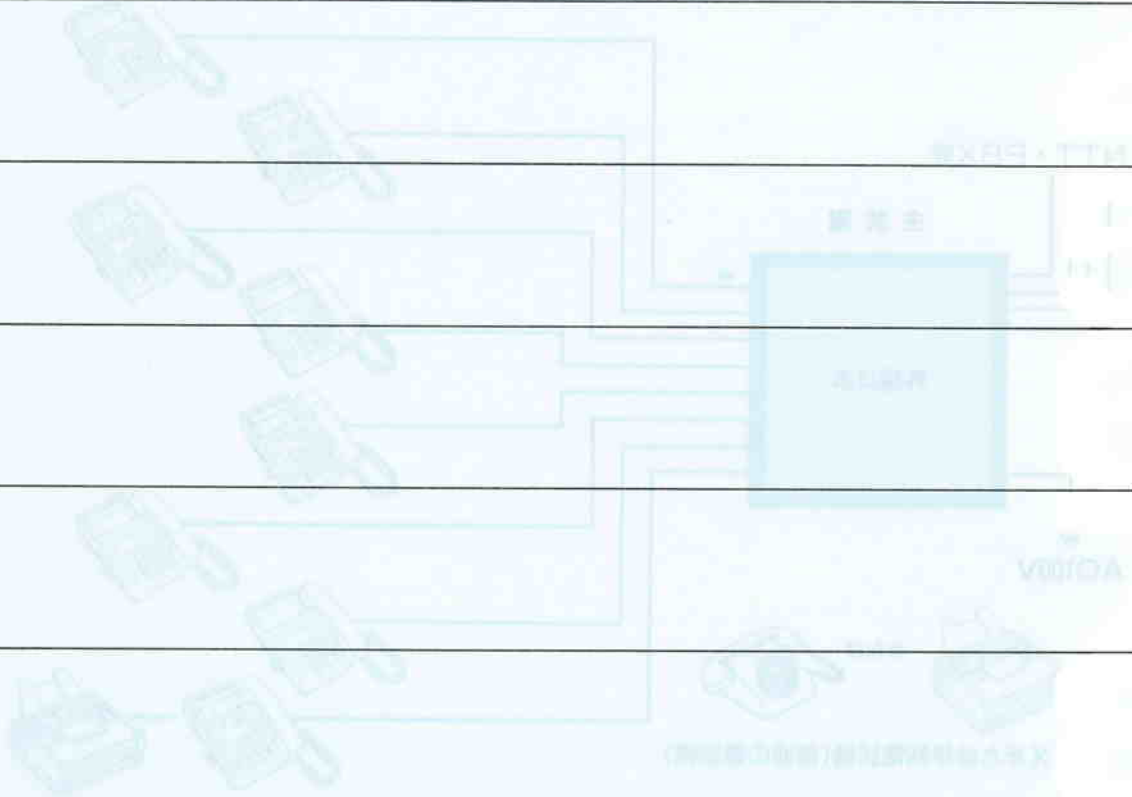
●日時を合わせます	147
●ディスプレイ表示リスト	148
●停電のとき	156
●故障かなと思うまえに	156
●さくいん	157
●主な仕様	159

PART 1

1

ご使用の前に

この製品は、インターネットに接続して、インターネット上のサービスを利用するための機器です。インターネットに接続するには、インターネットサービスプロバイダ（ISP）と契約する必要があります。また、インターネットに接続するには、インターネット接続機器（モデム）が必要です。この製品は、インターネット接続機器（モデム）と接続して、インターネットに接続することができます。



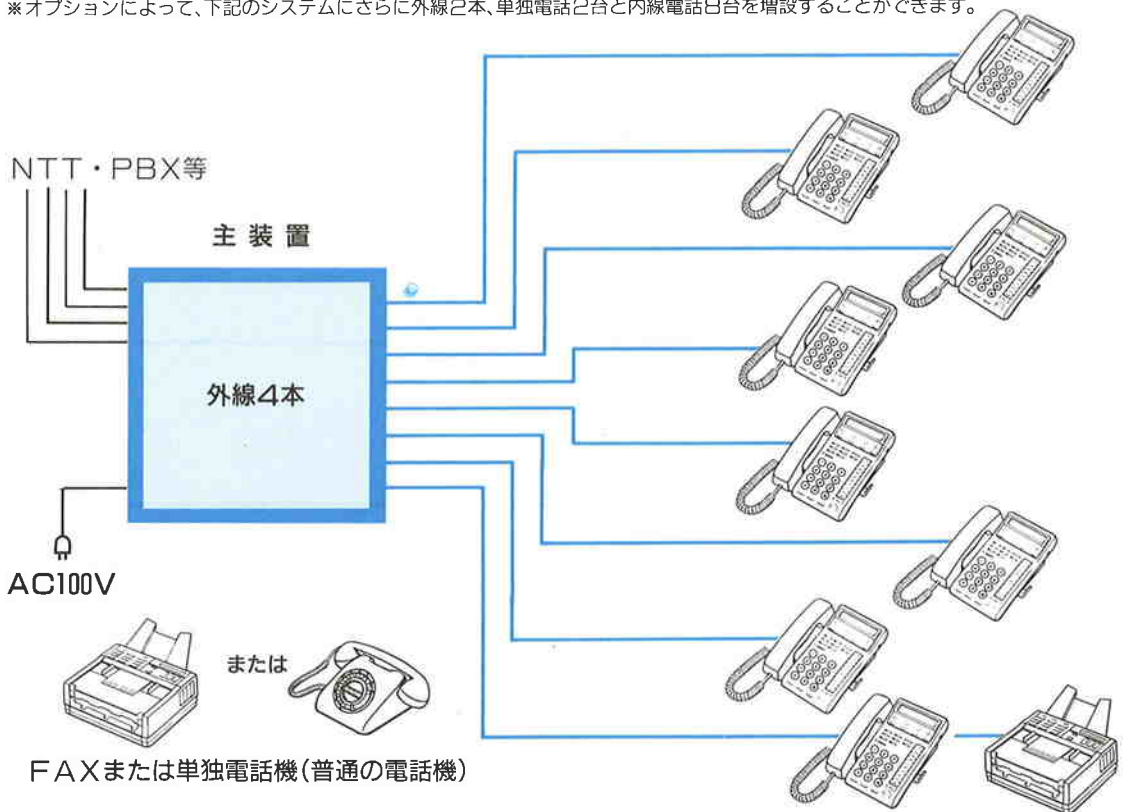
必要に応じてお読みください。



システムの概略

《キャノン・デジタルホン・システムDIGI 619》は、主装置のほかに図のような5種類の電話機があり、この中からお客様の必要に応じたタイプの電話機をお選びいただけます。ただし、ディスプレイのある電話機(B、C、D、Eタイプ)が最低1台必要です。この操作説明書は、Bタイプを基準に説明しています。

※オプションによって、下記のシステムにさらに外線2本、単独電話2台と内線電話8台を増設することができます。



★必要に応じてお選びください。

Aタイプ

(標準機
ディスプレイなし)



Bタイプ

(標準機
ディスプレイあり)



Cタイプ

(ハンズフリー機
ディスプレイあり)



Dタイプ

(停電機
ディスプレイあり)



Eタイプ

(標準機
FAXアダプタ付)



★この使用説明書の中でのマークについて



Aタイプ電話機についての説明です。



B・C・D・Eタイプ電話機についての説明です。



Eタイプ専用の機能でEタイプ電話機の操作の説明です。



このマークがついている機能はマスター電話機からしか操作できません。どの電話機をマスター電話機にするかは設置時に決定します。詳しくは工事担当者におたずねください。



単独電話機(普通の電話機)についての説明です。

添付品の確認

本商品は主装置と電話機で構成されています。
次のものがそろっているか確認してください。

主装置

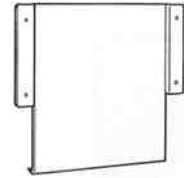
●使用説明書



●端末設備
接続請求書



●ネジ2個



●床固定用金具



●木ネジ4個



●本体

●工事説明書
●サービスデータシート
●保証書



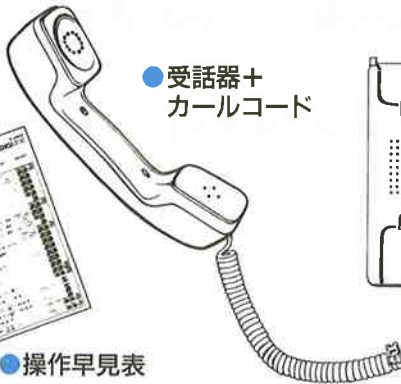
●クイックコネクタ
12個

電話機

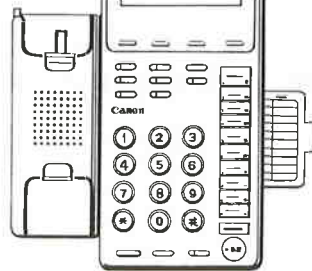
●受話器+
カールコード



●操作早見表



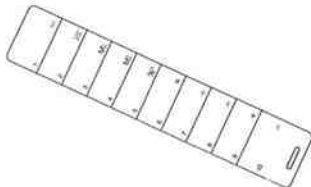
●本体



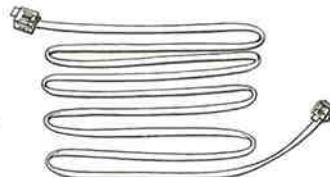
●壁かけ用
アクセサリ



●木ネジ2個



●ワンタッチダイヤルシート
1枚



●モジュラーコード
(Eタイプ電話機は2本)



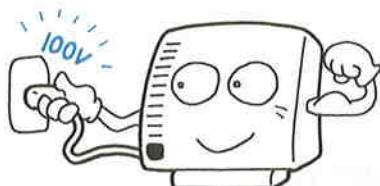
●受話器
ハンガー



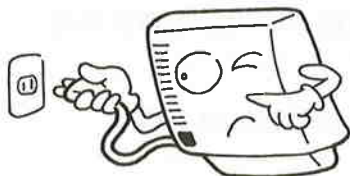
●ローゼット

電源について (主装置)

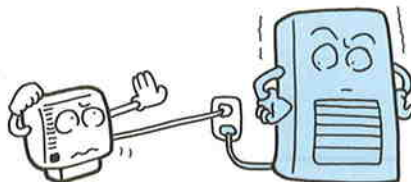
交流 100V の家庭用電源コンセントにつないでご使用ください。本機は国内用ですので海外ではご使用になれません。



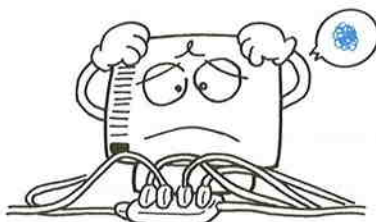
電源プラグは接触不良がないように、コンセントに確実に差し込んでください。また、プラグを抜くときには、コードを引っばらずに必ずプラグを持って抜いてください。



電源ノイズの大きい系統(たとえば空調機、電動タイプライター等)と電源コンセントの共用は避けてください。

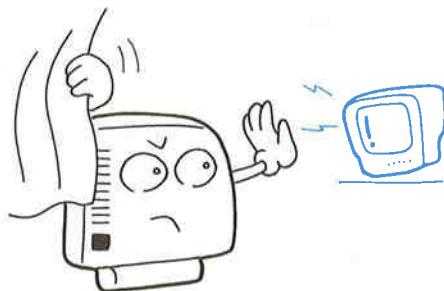


タコ足配線は危険ですので絶対にしないでください。



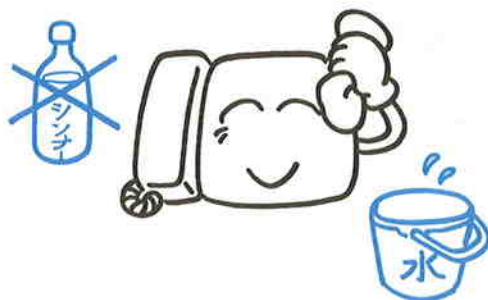
設置場所等について (主装置および電話機)

- 直射日光のあたる場所やホコリ、振動の多い場所、高温、高湿な場所、本機が落下するおそれのある場所は避けてください。
- 冷・暖房器、高周波ウェルダ、電気溶接機の近くは避けてください。
- テレビ・ラジオなどから2m以上離してご使用ください。
- 主装置の上に物を置かないでください。
- 主装置の前面をカーテン等でおおわないでください。



お手入れについて (主装置および電話機)

柔らかいぬのを水またはうすい中性洗剤溶液でしめらせ、軽くふきとってください。
シンナー、ベンジン、アルコール等は変色、故障の原因となりますので使わないでください。



届出と手続

ご使用に際しては、NTTへの接続請求が必要です。必要事項を記入のうえ郵送してください。

端末設備接続(変更)請求書の記入のしかた

端末設備接続(変更)請求書

日本電信電話株式会社

契約者氏名

下記のとおり端末設備を設置するので提出します。

記

1. 端末機器名等(新設又は変更後)

番号	機 種 名	適合認定・型式指定番号等
1	XXXXXXXXXXXXXXXXXXXX XXXXXXXXXXXXXXXXXXXX	XXXXXXXXXXXXXXXXXXXX
2		
3		

2. 端末機器を取り付ける電話番号 TEL. ()

3. 端末機器を取り付ける場所(住所)

住所

4. 連絡先

故障時の連絡先	会社名	<input type="text"/>
	氏 名	<input type="text"/> Tel. <input type="text"/>
契約者の連絡先等	会社名等	<input type="text"/>
	氏 名	<input type="text"/> Tel. <input type="text"/>
工事担任者名	<input type="text"/>	Tel. <input type="text"/>

5. 使用開始年月日 平成 年 月 日

●契約者氏名

電話局に契約申込みをした時の契約者(名義人)です(通常は世帯主です)。必ずなつ印してください。

●端末機器を取付ける電話番号

電話番号を記入してください。

●端末機器を取付ける場所

住所を記入してください。

●連絡先

故障時の連絡先…お買い上げの販売店名と販売担当者、電話番号を記入してください。
 契約者の連絡先…この請求書を提出する契約者の勤務先(自営の場合、店名等)、お名前、電話番号を記入してください。
 工事担任者名…販売店にご相談ください。

●使用開始日

使用開始日の希望日を記入してください。

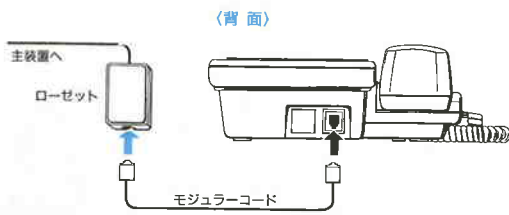
〈表面〉

- 宛先 電話料金の領収書、電話番号簿等でお客さまの電話局を確認して、記入してください。
- 切手 必ず切手をお貼りください。

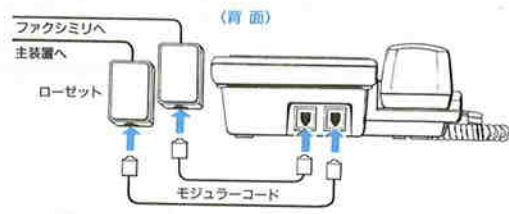
接続のしかた

電話機とローゼットの接続

A～Dタイプ電話機

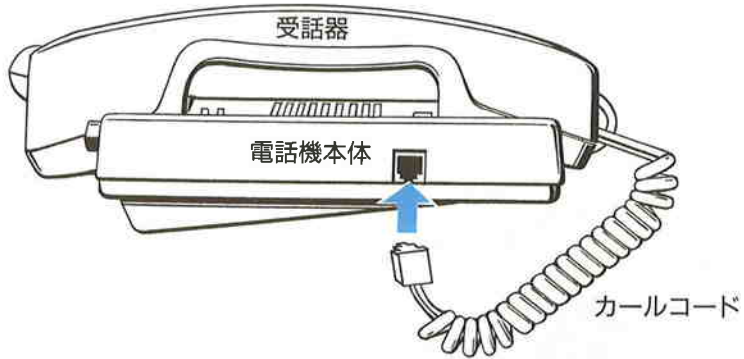


Eタイプ電話機



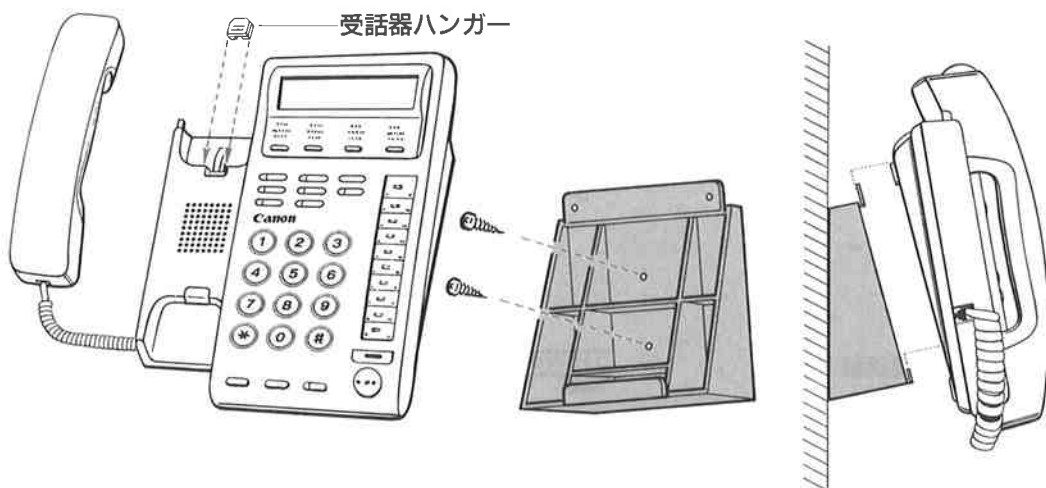
●モジュラーコードは必ず添付品のものをご使用ください。

電話機本体と受話器の接続



壁かけにする場合

どのタイプの電話機も壁かけ用として使用できます。現在付いているフックを付属の受話器ハンガーに付け替えてください。



ワンタッチダイヤル シートの取付けかた

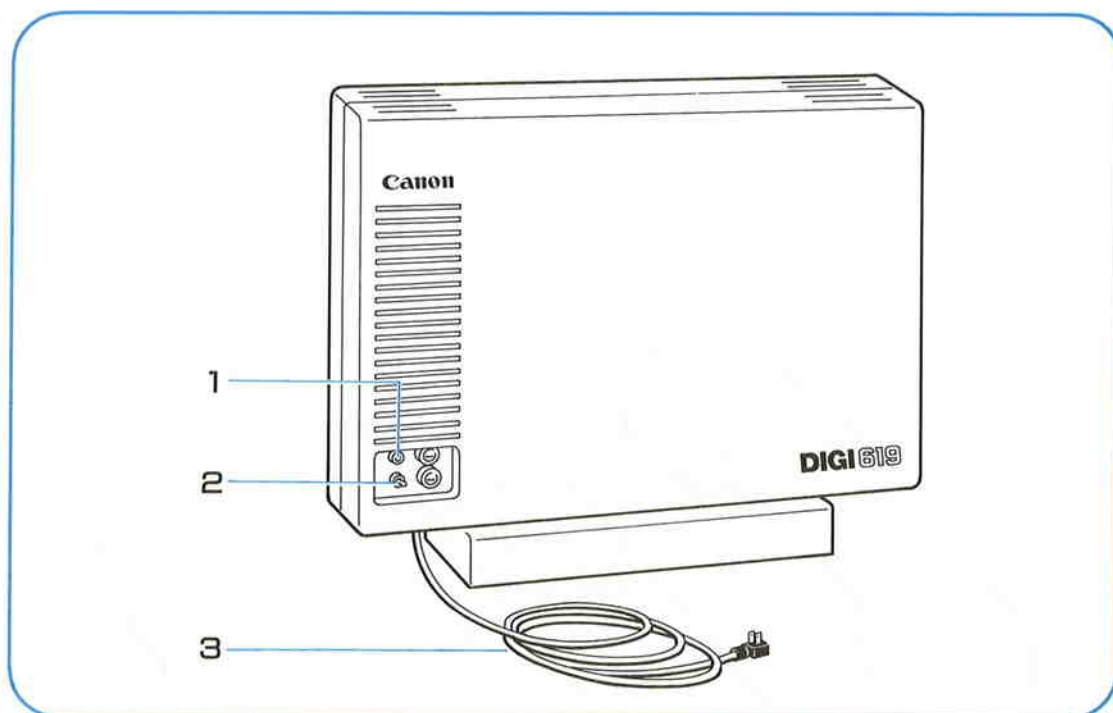
本機にはワンタッチダイヤルシートが、電話機1台につき2枚入っています。

鉛筆またはボールペンで、相手先を書いて図のように差し込んでください。

引き出すときにはシートの先端をつまんで引き出してください。

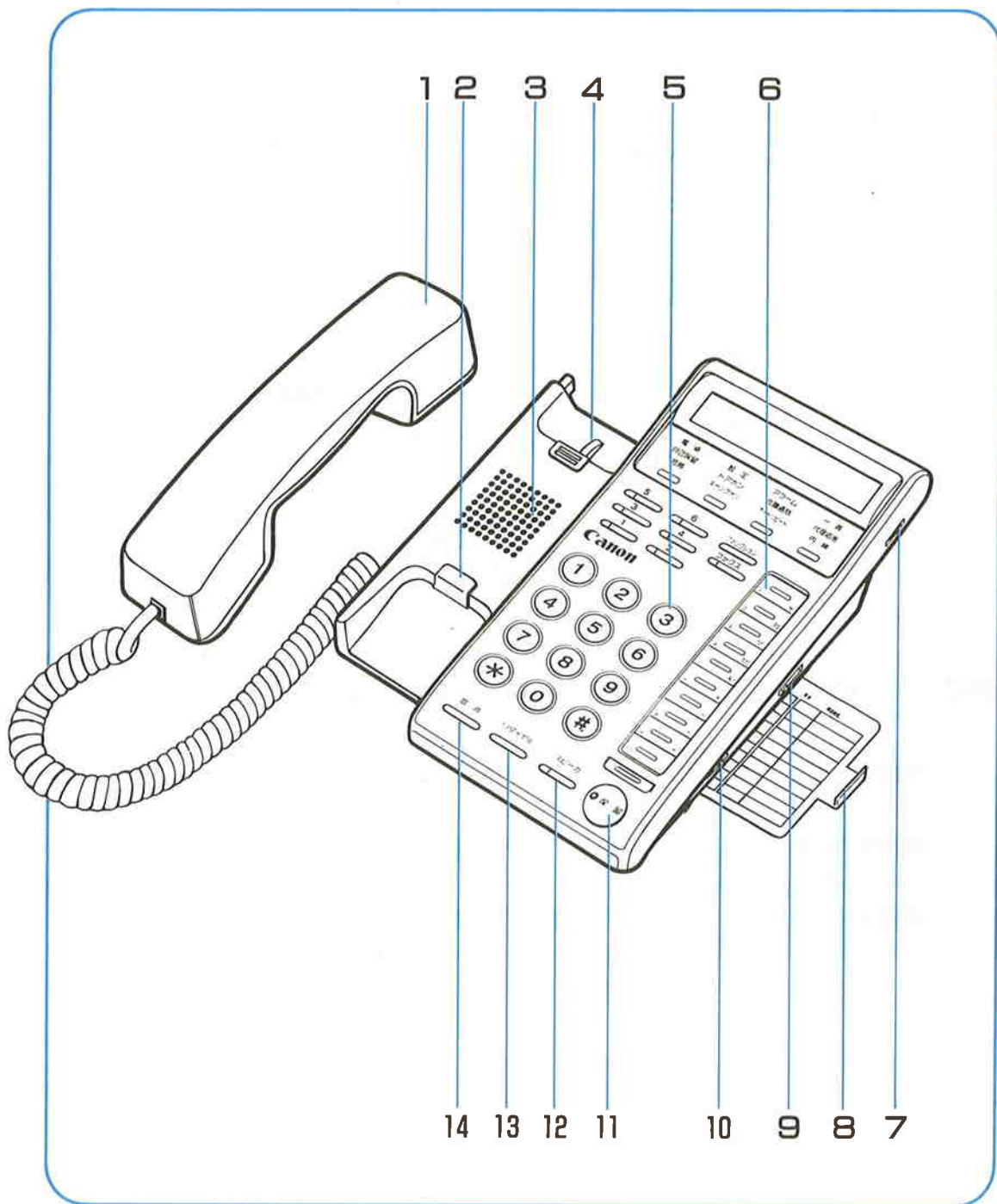


各部の名称とはたらき (主装置)

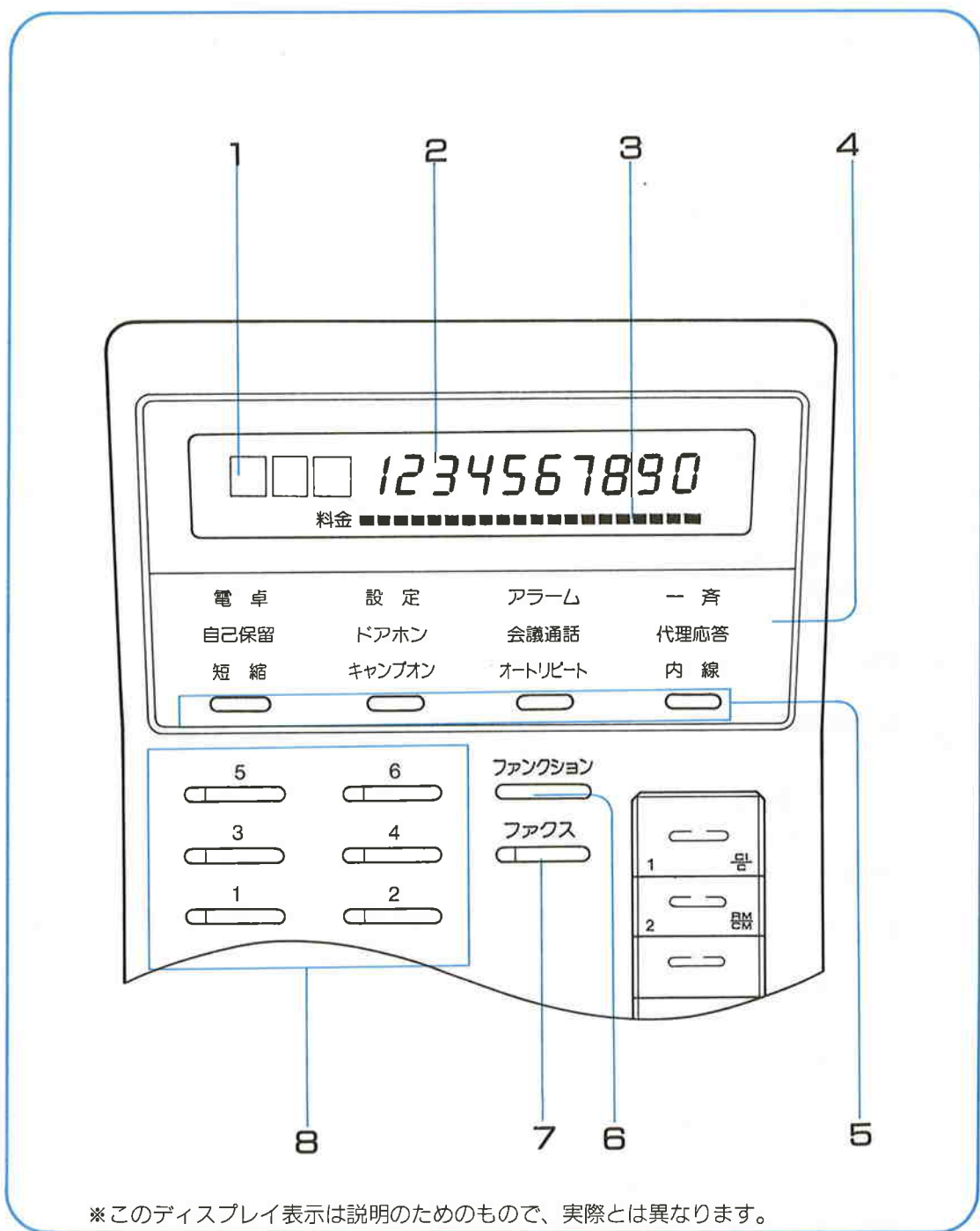


番号	名称	はたらき
1	電源ランプ	電源が入ると、緑色に点灯します。
2	電源スイッチ	電源のON・OFFを切替えます。
3	電源コード	プラグを交流100Vの家庭用電源コンセントにつないでご使用ください。


各部の名称とはたらき (電話機)



番号	名称	はたらき
1	受話器	通話のとき使用します。
2	受話音量調整ボタン	外線と通話をしているときに受話器から聞こえる音を調整します。1.回押すと大きくなり、さらにもう1回押すともともにもどります。
3	スピーカ	スピーカ受話時に相手の声が聞こえます。 また警告音なども聞こえます。
4	フックボタン	通話を切るときに使用します。 またフッキングにも使用します。
5	ダイヤルボタン	ダイヤルするときや、ワンタッチ・短縮ダイヤルの登録などに使用します。
6	ワンタッチダイヤルボタン	ワンタッチダイヤルで電話をかけるときに使用します。 Cタイプ電話機(ハンズフリー機)は、ワンタッチダイヤルボタン10がマイクボタンになり、マイクのON・OFFを切替えます。
7	ディスプレイ表示濃度調整器	ディスプレイの液晶画面濃度を調整します(漢字表示部分のみ)。 上に回すと濃く、下に回すと薄くなります。
8	短縮ダイヤルシート	短縮ダイヤルの番号と相手先をメモしておくとお便利です。
9	着信音量調整ボリューム	着信音の音量を調整します。 手前にするほど小さくなります。
10	スピーカ音量調整ボリューム	スピーカの音量を調整します。 手前にするほど小さくなります。
11	保留ボタン	通話を一時保留するときに使用します。
	保留ランプ	赤色・点灯……自分が外線を保留したときや内線保留中のとき 赤色・点滅……他人が内線保留中のとき
12	スピーカボタン	受話器をとらずにダイヤルすることができます。
	スピーカランプ	赤色・点灯 スピーカON ただし、Cタイプの電話機(ハンズフリー機)は、マイクがONになっている場合は緑色に点灯します。
13	リダイヤルボタン	最後にかけた外線の相手にもう一度かけるときに使用します。
14	取消ボタン	ダイヤルを途中で間違ったときや、登録の内容を取消すときに使用します。



※このディスプレイ表示は説明のためのもので、実際とは異なります。

番号	名称	はたらき
1	漢字ディスプレイ	“外線” “内線” “呼出中”などが表示されます。
2	数字ディスプレイ	電話番号・通話時間・料金などが表示されます。 10桁までの数字が表示されます。 通常は日付と時刻を表示します。  日付 時刻
3	料金メータ	10個の“—”で、電話の料金を表示します。 “—”で1000円を表わします(この値は変更できます)。
4	機能表示パネル/ ランプ	12種(A、Eタイプ電話機は電卓機能を除いた11種)の機能が表示してあります。 ファンクションボタンを押すと、ランプの点灯位置が変わります。
5	選択ボタン	機能表示パネルにある機能の選択に使用します。 ファンクションボタンで実行したい機能の列を点灯させて、機能の下にある選択ボタンを押して機能を選択します。
6	ファンクションボタン	機能表示パネルにある機能の選択に使用します。 1回押すごとに、ランプの点灯位置が移動します。
7	ファクスボタン	A～Dタイプ電話機：FAXを内線に接続されたFAXへ転送するときに使います。 Eタイプ電話機：Eタイプ電話機に接続されたFAXを使ってFAXの送受信を行います。
	ファクスランプ	A～Dタイプ電話機： 赤色・点滅……FAX転送中 赤色・点灯……FAX通信中 Eタイプ電話機： 赤色・速い点滅……回線をFAXに切替え中 赤色・点滅……FAXを呼出し中、またはFAX通信中 赤色・点灯……自動受信モードをセットしているとき
8	外線ボタン	外線に電話をかけるときに使用します。 外線の接続されていない外線ボタンは、ワンタッチダイヤルボタンと同じ機能になります。
	外線ランプ	緑色・点灯……自分が使用中 緑色・点滅……自分が保留中 緑色・速い点滅……保留警報中 赤色・点灯……他人が使用中 赤色・点滅……他人が保留中 赤色・速い点滅……着信中

ページの見かた

タイトル

電話の操作を大きく5種類に分けてあります

別売のオプションが必要です

この機能を使用する前にデータ設定が必要です。工事保守店にご相談ください

操作説明

機能説明のイラスト

電話をかけるとき

ボタン1つでダイヤルします

オプション データ設定



1

2

3

受話器をとらずにランプの消えている「外線」ボタンを押します。

→ スピーカから「ツー」音が聞こえ、外線ランプが緑色に点灯します。

ワンタッチダイヤルボタンを押します。

外線 7582111

相手がたら受話器をとってお話ください。

外線 7582111

メモ

- 相手が話し中あるいは電話に出ないときには、スピーカボタン(赤色に点灯)を押すと電話は切れます。
- □タイプ電話機(ハンズフリー機)は、ワンタッチダイヤルの一番下のボタンがマイクボタンになりますのでワンタッチダイヤルの登録は9ヶ所までしかできません。



機能名称

機能の説明

使用できる電話機の種別(→ P. 7)

機能表示ランプの位置

ディスプレイ表示

この機能を使用するときの参考事項や注意事項です。

※このページは説明のためのもので、実際にはありません。

「お気に入り」に登録
したお部屋の広告を優先的に表示する



PART

2


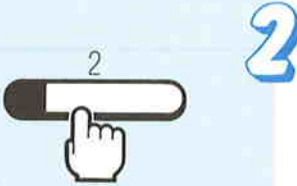

外線での使い方

受話器をとって かけます

外線発信 1

外線の相手へ電話をかけるときの操作です。



	<p>受話器をとります。</p> <p>④ 「ツ・ツ・ツ」音が聞こえます。</p>	内線
	<p>ランプの消えている 外線 ボタンを押します。</p> <p>④ 「ツー」音が聞こえ、外線ランプが緑色に点灯します。</p>	外線
	<p>相手の電話番号をダイヤルします。</p>	外線 7582111
	<p>相手が出たら、受話器をとってお話してください。</p>	外線 7582111

メモ

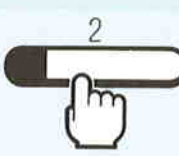


- 本機は受話器を上げたときに内線につながるよう設定されています。
- 受話器を上げたときに外線につながるよう設定されているときは、操作2は必要ありません。
- 2の操作で **外線** ボタンを押す代わりに0をダイヤルすると、自動的にテナント(→P.72)内で未使用の外線を選択します。
- 単独電話機(普通の電話機)の場合は、2の操作の代わりに0をダイヤルしてください。

受話器をとらずに かけます

外線発信②

外線の相手へ電話をかけるときの操作です。



	1	受話器をとらずにランプの消えている 外線 ボタンを押します。	外線
	2	相手の電話番号をダイヤルします。	外線 7582111
	3	相手が出たら、受話器をとってお話ください。	外線 7582111

メモ


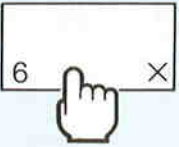

- 相手が話し中あるいは電話に出ないときは、**スピーカ** ボタンを押して電話を切ってください。
- 間違っただイヤルしたときは、**取消** ボタンを押してもう一度ダイヤルしてください。
- 受話器を上げたときに外線につながるように設定されているときは、操作 1 の代りに **スピーカ** ボタンを押して外線へ電話をかけることもできます。
- あらかじめデータ設定をしておくことにより、自動的にNCC*回線を使用して電話をかけることができます。詳しくは、工事保守店にご相談ください。
*NCC：第二電電、日本テレコム、日本高速通信などのNTT以外の通信事業者
- NCC回線で電話をかけたときに、回線が混んでいてかからないときなどは、以下の操作を行って通常のNTT回線のみを使用して電話をかけることができます。
 1. 電話をいったん切ります。
 2. 未使用の **外線** ボタンを押します。「ツーン」音が聞こえます。
 3. 同じ **外線** ボタンをもう一度押します。
 4. ダイヤルし直します。

ボタン1つでダイヤルします

ワンタッチダイヤル

あらかじめ相手先の電話番号をワンタッチダイヤルに登録しておけば、このボタンを1回押すだけでダイヤルできます。ワンタッチダイヤルは電話機1台ごとに10ヶ所まで登録できます。



	<p>1</p> <p>受話器をとらずにランプの消えている 外線 ボタンを押します。</p> <p>➡ スピーカから「ツー」音が聞こえ、外線ランプが緑色に、スピーカランプが赤色に点灯します。</p>	<p>外線</p>
	<p>2</p> <p>ワンタッチダイヤルボタンを押します。</p>	<p>外線 7582111</p>
	<p>3</p> <p>相手がでたら受話器をとってお話ください。</p>	<p>外線 7582111</p>

- 相手が話し中あるいは電話に出ないときは、**スピーカ** ボタンを押して電話を切ってください。
- 外線の接続されていない外線ボタンをワンタッチダイヤルボタンとして使用することができます。
- □タイプ電話機(ハンズフリー機)は、ワンタッチダイヤルボタンの一番下のボタンがマイクボタンになります。
- 受話器をとってダイヤルすることもできます。その場合は1の操作の前に受話器をとります。
- ワンタッチダイヤルボタンを複数押してダイヤルすることができます。また短縮ダイヤルや通常のダイヤルと組み合わせてダイヤルすることができます。20桁以上の長い電話番号をダイヤルするときや市外局番だけのワンタッチダイヤルを作って組み合わせて使用すると便利です。

登録のしかた

(例) 758-2111をワンタッチダイヤルボタン9に登録します。

 <p>ファンクション</p>	<p>1</p> <p>「ファンクション」ボタンを押して、機能表示ランプを図の位置にもっていきます。</p>	
 <p>設定</p>	<p>2</p> <p>「設定」の下の選択ボタンを押します。</p> <p>→ スピーカから「ツー・ツー」音が聞こえます。</p>	
 <p>9 +</p>	<p>3</p> <p>ワンタッチダイヤルボタン9を押します。</p>	
 <p>① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ * 0</p>	<p>4</p> <p>登録したい相手の電話番号をダイヤルボタンを使って入力します。</p>	
 <p>設定</p>	<p>5</p> <p>「設定」の下の選択ボタンを押します。</p>	

メモ

- 登録できる電話番号は20桁までです。
- 続けて他のワンタッチダイヤルを登録する場合は、3～4の操作を繰り返します。
- 本機が構内交換機(PBX)に接続されているときは、電話番号の前に0などの外線呼出し番号を付けて登録する必要があります。

09 07582111

└─ 外線呼出し番号

- 外線ボタンを押すと、電話番号の間にポーズを入れることができます。ポーズは“-”で表示されます。PBXに接続されている場合は、ポーズは自動的に入ります。

変更のしかた

- 登録した電話番号を変更する場合は、新しい番号をそのまま登録してください。前の番号は自動的に消え、変更されます。

取消しのしかた

- 登録した内容を取消す場合は、4の操作の代わりに ボタンを押してください。

内容の確認のしかた

- 登録した内容を確認する場合は、「登録のしかた」の4の操作を除いてください。

メモ

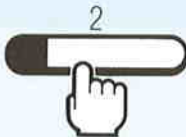






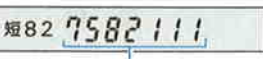


- 複数の変更・取消し・内容の確認を一度に行う場合は、3～4の操作を繰返してください。

電話番号を短縮します

短縮ダイヤル

あらかじめ相手先の電話番号を00～89の短縮ダイヤルに登録しておけば、この2桁の番号を押すだけでダイヤルできます。







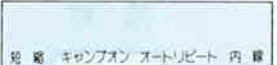






	<p>1</p> <p>受話器をとらずにランプの消えている 外線 ボタンを押します。</p> <p>→ スピーカから「ツー」音が聞こえ、外線ランプが緑色に点灯します。</p>	
<p>ファンクション</p> 	<p>2</p> <p>ファンクション ボタンを押して、機能表示ランプを図の位置にもっていきます。</p>	 <p>短縮 キャンプオン オートリビート 内線</p>
<p>短縮</p> 	<p>3</p> <p>短縮 の下の選択ボタンを押します。</p>	
	<p>4</p> <p>短縮番号をダイヤルします。</p>	 <p>登録されている電話番号が表示されます。</p>
	<p>5</p> <p>相手が出たら、受話器をとってお話してください。</p>	

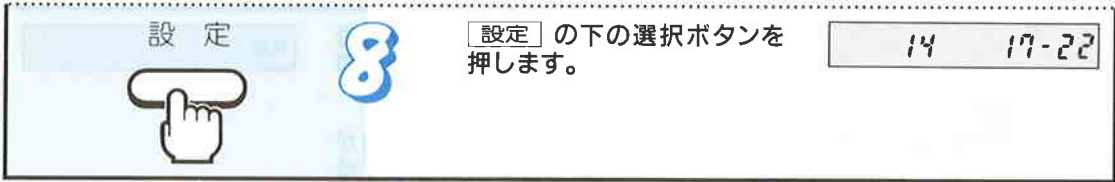
メモ

- 00～79の短縮ダイヤルに登録してある電話番号(これをシステム短縮ダイヤルと呼びます)は全電話機共通で、80～89の短縮ダイヤルに登録してある電話番号(これを電話機別短縮ダイヤルと呼びます)は各電話機それぞれ独自のものです。
- システム短縮ダイヤルの登録は、マスター電話機からしかできません。
- PB信号(→P.78)を発信することができる単独電話機は、システム短縮ダイヤルを使ってダイヤルすることができます(例—短縮番号70をダイヤルするとき：*70)。

登録のしかた

(例) 758-2111を短縮ダイヤル82に登録します。

<p>ファンクション</p> 	<p>1</p>	<p>「ファンクション」ボタンを押して、機能表示ランプを図の位置にもっていきます。</p>	
<p>設定</p> 	<p>2</p>	<p>「設定」の下の選択ボタンを押します。 ⤵ スピーカから「ツー・ツー」音が聞こえます。</p>	
<p>ファンクション</p> 	<p>3</p>	<p>「ファンクション」ボタンを押して、機能表示ランプを図の位置にもっていきます。</p>	
<p>短縮</p> 	<p>4</p>	<p>「短縮」の下の選択ボタンを押します。</p>	
	<p>5</p>	<p>短縮ダイヤル82をダイヤルボタンを使って入力します。</p>	
	<p>6</p>	<p>相手の電話番号をダイヤルボタンで入力します。</p>	
<p>ファンクション</p> 	<p>7</p>	<p>「ファンクション」ボタンを押して、機能表示ランプを図の位置にもっていきます。</p>	



メモ

- 続けて他の短縮ダイヤルを登録する場合は、4～6の操作を繰り返します。
- 本機が構内交換機(PBX)に接続されているときは、電話番号の前に0などの外線呼出し番号を付けて登録する必要があります。

短82 07582111

外線呼び出し番号

- 外線ボタンを押すと、電話番号の間にポーズを入れることができます。ポーズは“-”で表示されます。PBXに接続されている場合は、ポーズは自動的に入ります。
- システム短縮ダイヤル(→P.26)の登録は、マスター電話機(P.8)からしかできません。

取消しのしかた

- 登録した内容を取消す場合は、6の操作の代りに **取消** ボタンを押してください。

内容の確認のしかた

- 登録した内容を確認する場合は、「登録のしかた」の6の操作を除いてください。

メモ

- 複数の変更・取消し・内容の確認を一度に行う場合は、4～6の操作を繰り返してください。

最後にかけた相手に ボタン1つで ダイヤルします

リダイヤル

最後にダイヤルした相手番号が自動的に記憶されます。もう一度同じ相手にかけるときに使うと、ダイヤルする手間が省けます。



<p>2</p>	<p>1</p> <p>受話器をとらずにランプの消えている 外線 ボタンを押します。</p> <p>➡ スピーカから「ツー」音が聞こえ、外線ランプが緑色に点灯します。</p>	<p>外線</p>
<p>リダイヤル</p>	<p>2</p> <p>リダイヤル ボタンを押します。</p>	<p>外線 7582111</p> <p>最後にダイヤルした電話番号が表示されます。</p>
	<p>3</p> <p>相手が出たら、受話器をとってお話ください。</p>	<p>外線 7582111</p>

メモ

- リダイヤルに記憶される電話番号は20桁までです。
- ワンタッチダイヤル、短縮ダイヤルでかけた番号もリダイヤルできます。
- 内線にリダイヤルを使って電話をかけることはできません。
- 受話器をとってダイヤルすることもできます。その場合は1の操作の前に受話器をとります。
- PB信号(→P.78)を発信することができる単独電話機は、**#** を押してリダイヤルすることができます。



外線 1



通話中に 電話番号をメモして あとでかけます

メモダイヤル

通話中に電話番号を本機に記憶させておきます。
電話を切った後でリダイヤルボタンを押すと、その相手先に電話がかけられます。

(例) 通話中に、758-2111をメモして、あとで電話をかけます。



PART 2

外線での使いかた

	1	通話中に「リダイヤル」ボタンを押します。	メモ
	2	メモする電話番号をダイヤルボタンを使って入力します。 (間違えてメモした場合は、操作1からやり直してください。)	メモ 7582111
	3	通話を終わったら受話器をもうします。	14 17-22
	4	受話器をおいたままランプの消えている「外線」ボタンを押します。	外線
	5	「リダイヤル」ボタンを押します。	外線 7582111 2の操作でメモした電話番号が表示されます。
	6	相手が出たら、受話器をとってお話ください。	外線 7582111

メモ

- メモできる電話番号は20桁までです。
- メモできるのは外線への電話番号だけです。

外線の予約をします

外線予約

空いている外線が無いときは、予約しておけば、外線が空き次第呼出してくれます。



<p>ファンクション</p> <p>1</p>	<p>ファンクション ボタンを押して、機能表示ランプを図の位置にもっていきます。</p>	<p>待 着 キャンプオン オートリポート 内 線</p>
<p>キャンプオン</p> <p>2</p>	<p>キャンプオン の下の選択ボタンを押します。</p>	<p>予約中 17-22</p>
<p>ポロポロ</p> <p>3</p>	<p>外線が空くと「ポロロ・ポロロ」音で知らせてくれます。</p>	<p>発信可</p>
<p>4</p>	<p>受話器をとってダイヤルしてください。</p>	<p>外線</p>

メモ

- 「ポロロ・ポロロ」音は20秒間鳴ります。20秒以内に受話器をとらない場合は予約は取り消されます。
- 受話器を上げたまま待っていた場合は、外線が空いたときに「ツー」音が聞こえます。

外線予約の取り消し

<p>取消</p> <p>1</p>	<p>取消 ボタンを押します。</p> <p>➡ スピーカから「ツー・ツー」音が聞こえます。</p>	<p>取消</p>
<p>キャンプオン</p> <p>2</p>	<p>キャンプオン の下の選択ボタンを押します。</p> <p>➡ 外線予約が取り消されました。</p>	<p>14 17-22</p>

本機が自動的に再ダイヤルします

オートリポートダイヤル

電話をかけたとき相手が話し中または不在のときは、本機が自動的に再ダイヤルして相手を出します。







ダイヤルしたが相手が不在または話し中

<p>ファンクション</p>	<p>1</p> <p>受話器はそのまま [ファンクション] ボタンを 押して、機能表示ランプを 図の位置にもっていきます。</p>	
<p>オートリポート</p>	<p>2</p> <p>[オートリポート] の下の選択 ボタンを押します。</p> <p>→ 確認音「ツー・ツー・ツー」 が鳴ります。</p>	
<p>3</p>	<p>受話器をもどしてください。</p> <p>→ 1分間隔で10回まで自動 的に繰り返し相手を出し ます。受話器を置いたま ま電話をかけた場合は、 [スピーカ] ボタンを押 してください。</p>	
<p>4</p>	<p>相手が出たら受話器をとって お話しください。</p>	

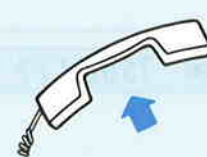

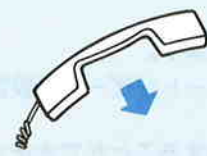

メモ

- 相手が出て30秒以内に受話器をとらない場合は、自動的に電話は切れます。
- 一台の電話機で設定できるオートリポートの数は1カ所です。新たにオートリポートを設定すると、前の設定は自動的に取消されます。
- この機能は、直接NTTの回線に本装置がつながっているときのみ使用することができます。

待機状態のときの オートリピートダイヤルの取消し

 <p>取消</p>	<p>1</p> <p>取消 ボタンを押します。</p> <p>➡ 「ツー・ツー」音が聞こえます。</p>	
 <p>オートリピート</p>	<p>2</p> <p>オートリピート の下の選択ボタンを押します。</p> <p>➡ オートリピートダイヤルが取消されました。</p>	

ダイヤル中、呼出し中の オートリピートダイヤルの取消し

 <p>1</p>	<p>ダイヤル中または呼出し中に受話器を上げます。</p>	
 <p>2</p>	<p>受話器をもどします。</p> <p>➡ オートリピートダイヤルが取消されました。</p>	

外線からかかってきた電話を受けます

外線応答 1

外線から電話がかかってくると着信音が鳴り、外線ランプが赤色に速く点滅します。



- 特別な操作は必要ありません。そのまま受話器をとって話してください。

着信音が鳴っていない電話機で受けます

外線応答 2

着信鳴動指定または集中着信のデータ設定がされている場合は、着信音が鳴る電話機と鳴らない電話機に分れます。着信音が鳴っていない電話機からでも電話を受けることができます。



	<p>1 受話器をとります。</p>	<p>内線</p>
	<p>2 外線 ボタン(赤色の速い点滅)を押します。</p> <p>→ 外線ランプが緑色に変わります。</p>	<p>外線</p>
	<p>3 お話してください。</p>	<p>外線</p>

メモ

- 単独電話機の場合は、2の操作の代わりにフッキング(→P.44)を行い、応答する **外線** ボタンの番号(1~6)をダイヤルします。

留守のとき音声メッセージで答えます

留守応答

外線の着信モードを“音声メッセージ応答”に切替えることにより、外線からかかってきた電話に対してメッセージで応答することができます。

オプション



<p>ファンクション</p>	<p>1</p> <p>ファンクション ボタンを押して、機能表示ランプを窓の位置にもっていきます。</p>	
<p>設定</p>	<p>2</p> <p>設定 の下の選択ボタンを押します。</p> <p>→ スピーカから「ツー・ツー」音が聞こえます。</p>	
<p>2</p>	<p>3</p> <p>留守応答の設定をする 外線 ボタンを押します。</p>	
	<p>4</p> <p>着信モード(1~4)をダイヤルボタンを使って入力し、メッセージを選択します。</p>	
<p>設定</p>	<p>5</p> <p>設定 の下の選択ボタンを押します。</p>	

メモ

- 着信モードを通常の着信モードにもどすときは、4の操作でダイヤルボタンの◎を押します。
- この留守応答の設定は、必要に応じて外線ごとに設定します。ただし、メッセージは全外線に共通で、外線ごとに異なったメッセージを指定することはできません。
- 各外線の着信モードは、昼間、夜間、休日用それぞれ設定することができます。夜間の一定時間を留守応答にしたいときなどは、着信モードを切替える時刻を設定しておくことにより、全外線の着信モードを自動的に夜間用に切替えることができます。詳しくは、「夜間/休日用に着信モードを切替えます」(→P. 102)をご覧ください。

音声メッセージを録音します

メッセージ録音

留守応答のメッセージを受話器から録音することができます。

録音のしかた

オプション



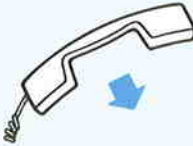


PART 2

外線での使いかた

<p>1</p> <p>ファンクション</p>	<p>ファンクション ボタンを押して、機能表示ランプを窓の位置にもっていきます。</p>	
<p>2</p> <p>設定</p>	<p>設定 の下の選択ボタンを押します。</p> <p>→ スピーカから「ツー・ツー」音が聞こえます。</p>	
<p>3</p>	<p>受話器をあげます。</p>	
<p>4</p>	<p>ダイヤルボタンの⑤を押します。</p>	
<p>5</p>	<p>録音したいメッセージ番号(1~4)をダイヤルボタンを使って入力します。</p> <p>→ 予告音「ポー」が鳴り、録音が始まります。</p>	<p>メッセージ番号 残り時間(秒)</p>

操作は次のページに続きます。

	<p>6</p> <p>受話器がマイク代りになり、録音されます。録音時間は16秒間です。16秒過ぎると再度「ポー」音が鳴ります。</p> <p>→ 録音が16秒に達しない場合は、「ポー」音を待たずに操作7に進みます。</p>	<p>録音中 3 12</p>
<p>設定</p> 	<p>7</p> <p>「設定」の下の選択ボタンを押します。</p> <p>→ 録音が終了します。</p>	<p>録音中 3 03</p>
	<p>8</p> <p>受話器をもどします。</p>	<p>14 17-22</p>

メモ

- 着信モード (→P.101) が1～4の“音声メッセージ応答”に設定されているときは、録音することはできません。
- 既に録音されているメッセージ番号に新たなメッセージを録音すると、前のメッセージは自動的に消去されます。
- 5の操作で、既に録音されているメッセージ番号を入力した場合は、ディスプレイに下図のように表示されます。

録音有 3



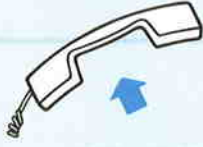




そのとき、既に録音されているメッセージを消去したくない場合は、取消ボタンを押して4の操作へ戻ります。

既に録音されているメッセージを消去して新たにメッセージを録音する場合は、設定の下の選択ボタンを押して6の操作へ進みます。

メッセージ録音を再生するには、着信モードが音声メッセージ応答以外のモード(0、5~8)で行ってください。着信モード切替については、101ページをご覧ください。



再生のしかた

<p>ファンクション</p> 	<p>1</p>	<p>「ファンクション」ボタンを押して、機能表示ランプを図の位置にもっていきます。</p>	<p>電卓 設定 アラーム 一角</p>
<p>設定</p> 	<p>2</p>	<p>「設定」の下での選択ボタンを押します。 ↳ スピーカから「ツー・ツー」音が聞こえます。</p>	<p>設定</p>
	<p>3</p>	<p>受話器をあげます。</p>	
	<p>4</p>	<p>ダイヤルボタンの⑥を押します。</p>	<p>再生</p>
	<p>5</p>	<p>再生したいメッセージ番号(1~4)をダイヤルボタンで押します。 ↳ メッセージが再生されます。メッセージは繰返し再生されます。</p>	<p>再生中 3</p>
<p>設定</p> 	<p>6</p>	<p>もう一度「設定」の下での選択ボタンを押します。 ↳ 再生が止まります。</p>	<p>再生中 3</p>
	<p>7</p>	<p>受話器をもどします。</p>	<p>14 17-22</p>

外線と通話中の電話を保留します

外線システム保留

外線と通話中の電話を保留します。保留中の電話はテナント内の他の外線電話機でもとることができます。テナントについては72ページをご覧ください。



通話中			
	1	保留 ボタンを押します。 ④ 外線ランプが緑色に点滅し、保留ランプが赤色に点灯します。 相手先にはメロディが流れます。	外線
	2	受話器をもとします。 ④ 保留ランプが消えます。	14 17-22

メモ

- 保留メロディは、選択することができます。(→P.93)
- 単独電話機の場合は、受話器を上げたままにしてフッキング(→P.44)を行います。
- 外部音源(オプション)を用いた保留メロディについては、工事保守店にご相談ください。

保留中の相手と再び話すとき

	1	緑色に点滅している 外線 ボタンを押します。	外線
	2	受話器をとります。	外線
	3	お話しください。	外線

メモ

- 保留した通話を他の電話機でとるときは、外線・内線転送1(→P.45)の操作を行います。
- 保留した通話をとることのできる電話機は、同じテナント(→P.72)内の電話機に限ります。
- 単独電話機の場合は、受話器を上げた状態でフッキングを再度行ってください。

自分の電話機だけで 保留します

外線自己保留

外線と通話中の電話を保留します。
保留した電話は他の電話機でとることはできません。
また、他の電話機に転送することもできません。



通話中

ファンクション



1

ファンクション ボタンを押して、機能表示ランプを図の位置にもっていきます。

自己保留 ドアホン 会議通話 代理応答

自己保留

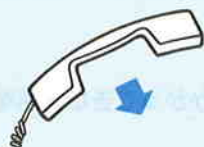


2

自己保留 の下の選択ボタンを押します。

外線

➡ 外線ボタンが緑色に点滅し、相手先にはメロディが流れます。

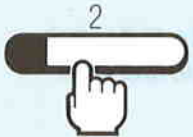


3

受話器をもどします。

14 17-22

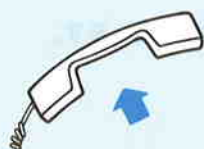
保留中の相手と再び話すとき



1

緑色に点滅している **外線** ボタンを押します。

外線



2

受話器をとります。

外線



3

お話しください。

外線

転送について

本機の転送には以下の9種類があります。

- **外線・外線転送1**
(→ P. 42)
あらかじめ転送先を登録しておけば、不在時などにかかってきた外線からの電話を自動的に転送します。
- **外線・外線転送2**
(→ P. 44)
外線と通話中の電話を別の外線へ転送します。
- **外線・内線転送1**
(→ P. 45)
外線と通話中の電話を別の内線へ転送します。転送する相手が近くにいる場合の転送です。
- **外線・内線転送2**
(→ P. 47)
外線と通話中の電話を別の内線へ転送します。転送する相手が離れている場合の転送です。
- **F A X 転 送**
(→ P. 48)
A～Dタイプ電話機で外線からかかってきた電話をFAXに転送します。
- **内線・内線転送1**
(→ P. 62)
内線と通話中の電話を別の内線へ転送します。転送する相手が近くにいる場合の転送です。
- **内線・内線転送2**
(→ P. 64)
内線と通話中の電話を別の内線へ転送します。転送する相手が離れている場合の転送です。
- **内線・外線転送**
(→ P. 65)
内線と通話中の電話を別の外線へ転送します。
- **不 在 転 送**
(→ P. 70)
自分の電話機へかかってくる電話をあらかじめ設定した他の内線電話機へ自動的に転送します。

外線の設定された 相手先に自動的に 転送します

外線・外線転送 1

外線の着信モードを“転送電話”に切替えることにより、不在時などにかかってきた外線からの電話を自動的に転送します。

データ設定



PART 2

外線での使いかた

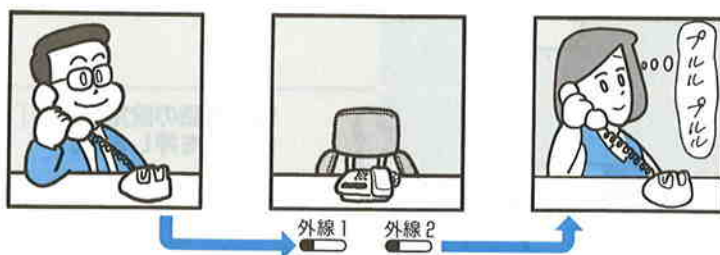
<p>ファンクション</p>	1	<p>「ファンクション」ボタンを押して、機能表示ランプを図の位置にもっていきます。</p>	
<p>設定</p>	2	<p>「設定」の下の選択ボタンを押します。</p> <p>→ スピーカから「ツー・ツー」音が聞こえます。</p>	
<p>2</p>	3	<p>転送電話の設定をする「外線」ボタンを押します。</p>	
<p>6</p>	4	<p>転送電話の着信モード (6) をダイヤルボタンを使って入力します。</p>	
<p>設定</p>	5	<p>「設定」の下の選択ボタンを押します。</p>	

説明は次のページに続きます。

メモ

- 着信モードを通常の着信モードにもどすときは、4の操作でダイヤルボタンの◎を押します。
- 転送先の電話番号は、マスター電話機を使ってあらかじめシステム短縮ダイヤル(00~79)に登録しておく必要があります。
- 転送先は外線ごとに設定することができます。設定については、工事保守店にご相談ください。
- この転送電話の設定は、必要に応じて外線ごとに設定します。
- 各外線の着信モードは、昼間、夜間、休日用それぞれ設定することができます。夜間の一定時間を転送電話にしたいときなどは、着信モードを切替える時刻を設定して、全外線の着信モードを自動的に夜間用に切替えることができます。詳しくは、「夜間/休日用に着信モードを切替えます」(P.102)をご覧ください。

- 電話を転送するための外線が空いてない場合は、外からの電話には自動応答しません。
- この機能は、転送先へ発信する外線が直接NTT回線につながっているときのみ使うことができます。構内交換機（PBX）またはNCCアダプタ等に接続されている場合は、工事保守店へご相談ください。
- 30分で警告音「ポー」が鳴ります。警告音が鳴ると、30秒後に電話は切れます。
- 転送先が電話をとったときに、転送電話であることを知らせる転送音「プルル プルル プルル プルル」を鳴らすことができます。詳しくは、工事保守店へご相談ください。



外線の相手先に 転送します

外線・外線転送2

外線と通話中の電話を別の外線へ転送します。



通話中	
	<p>1</p> <p>保留 ボタンを押します。</p> <p>④ 「ツ・ツ・ツ」音が聞こえます。</p> <p>内線</p>
	<p>2</p> <p>ランプの消えている 外線 ボタンを押します。</p> <p>外線</p>
	<p>3</p> <p>転送したい相手の電話番号をダイヤルします。</p> <p>外線 7582111</p>
	<p>4</p> <p>相手がかたら受話器をもどします。</p> <p>14 17-22</p>

メモ

- 30分で警告音「ポー」音が鳴ります。警告音が鳴ると30秒後に電話は切れます。
- 単独電話機の場合は、「保留」ボタンの代わりにフッキング*を行い、0をダイヤルしてから相手の電話番号をダイヤルします。
*フッキングとはフックボタンを軽く(0.2秒~0.8秒)押すことです。
- この機能を使うには、発信側、転送先の少なくともどちらかの外線がNTTかCES回線である必要があります。



近くにいる内線の人に 転送します

外線・内線転送 1

外線と通話中の電話をテナント内の別の内線へ転送します。
転送する相手が近くにいる場合の転送です。
テナントについては72ページをご覧ください。



通 話 中

	1	<p>保留 ボタンを押します。</p> <p>➡ 「ツ・ツ・ツ」音が聞こえ、相手先にはメロディが流れます。外線ランプが緑色に点滅し、保留ランプが赤色に点灯します。</p>	<div style="border: 1px solid gray; padding: 2px; display: inline-block;">内線</div>
	2	<p>受話器をもどします。</p> <p>➡ 保留ランプが消えます。</p>	<div style="border: 1px solid gray; padding: 2px; display: inline-block;">14 17-22</div>
	3	<p>転送したい相手に口頭で伝えます。</p>	

メモ

- 転送された人が電話にでるときの操作は次のページを参照してください。
- 単独電話機の場合は、1の操作の代わりにフッキング(→P.44)を行います。受話器をもどしてから転送先が応答するまで単独電話機が鳴ります。



呼ばれた人



	<p>1</p> <p>赤色に点滅している 外線 ボタンを押します。</p> <p>➡ 転送されました。</p>	<p>外線</p>
	<p>2</p> <p>受話器をとります。</p>	<p>外線</p>
	<p>3</p> <p>お話しください。</p>	<p>外線</p>

メモ



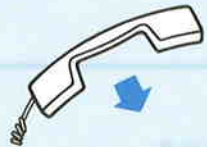
- 受けることのできる電話機は、転送元と同じテナント内の電話機に限ります。
- 単独電話機の場合は、受話器をとってフッキング(→P.44)を行い、応答する **外線** ボタンの番号(1~6)をダイヤルします。

離れている内線の人に 転送します

外線・内線転送2

外線と通話中の電話を、別の内線へ転送します。
転送する相手が離れている場合の転送です。



通 話 中		
	<p>1</p> <p>保留 ボタンを押します。</p> <p>➡ 「ツ・ツ・ツ」音が聞こえ、相手先にはメロディが流れます。外線ランプが緑色に点滅し、保留ランプが赤色に点灯します。</p>	内線
	<p>2</p> <p>転送したい相手の内線番号をダイヤルします。</p> <p>➡ 保留ランプが消えます。</p>	呼出中 18
	<p>3</p> <p>相手がでたら受話器をもどします。</p>	内線 18 ↓ 14 17-22

メ モ

- 転送先が不在や話し中のときまたは番号を間違えてダイヤルしたときは、もう一度 **外線** ボタン(緑色に点滅)を押すともとの相手と通話できます。
- 転送先が不在や話し中で、他の内線に転送するときは、**取消** ボタンを押してから内線番号をダイヤルしてください。
- 転送先が話し中でなければ、転送先の内線番号をダイヤルした後相手を確認しないで受話器をもどすことができます。
このとき、30秒以内に転送先が応答しないと、呼返し音が鳴ります。
- 単独電話機(普通の電話機)の場合は、**保留** ボタンのかわりにフッキング(→P. 44)をして内線番号をダイヤルしてください。
転送先が不在または話し中のときはもう一度フッキングすると、もとの相手と通話ができます。

FAXに 転送します

FAX転送

外線からかかってきた電話をFAXに転送します。
Eタイプ電話機に接続したFAXの送受信については、
138ページをご覧ください。



Eタイプ電話機を除く

	<p>1 相手がFAXである「ピー・ピー」音を確認します。</p> <p>(相手が手動送信の場合は相手にFAXの送信ボタン(スタートボタン)を押してもらいます。)</p>	<p>外線</p>
	<p>2 ファクス ボタンを押します。</p> <p>通信が始まるまでファクスランプが赤色に点滅します。</p>	<p>外線</p>
	<p>3 受話器をもどします。</p>	<p>14 17-22</p>

メモ

- 転送先FAXは、テナント(→P.72)に関係なく指定することができます。FAXの指定については、工事保守店にご相談ください。
- 転送先FAXにEタイプ電話機を指定して、Eタイプ電話機に接続されているFAXに転送させることもできます。ただし、その電話機を自動受信モード(→P.140)にしておく必要があります。
- 転送したときに転送先のFAXが使用中の場合は、転送元と同一テナント内のFAXへ自動的に転送されます。
- 転送先FAXがテナント外にある場合、そのFAXの使用状況にかかわらず、転送操作を行う電話機のファクスランプは消えたままになります。





内線電話の
使い方



PART 3

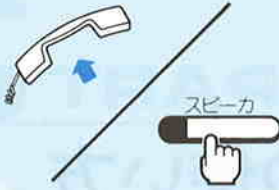


内線での使い方

内線へ電話をかけます

内線発信

内線の相手へ電話をかけるときの操作です。



 <p>1</p>	<p>受話器をあげるかまたは スピーカ ボタンを押します。</p> <p>➡ 「ツ・ツ・ツ」音が聞こえます。</p>	<p>内線</p>
 <p>2</p>	<p>内線番号をダイヤルします。</p>	<p>呼出中 18</p> <p>誤り 35</p> <p>誤ってダイヤルした場合</p>
 <p>3</p>	<p>相手が出たら(1でスピーカ ボタンを押した場合は受話器 をとって)お話しください。</p>	<p>内線 18</p>

メモ

- 誤ってダイヤルしたときは、**取消** ボタンを押してからもう一度ダイヤルし直してください。

受話器をあげたとき外線に直接つながるように設定されている場合 (→外線発信1 P.21)

データ設定



PART
3

内線での使いかた

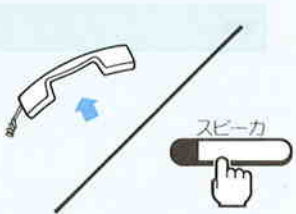



	<p>1</p> <p>受話器をあげます。</p>	<p>外線</p>
<p>ファンクション</p>	<p>2</p> <p>ファンクション ボタンを押して機能表示ランプを図の位置にもっていきます。</p>	<p>短 縮 キャンプオン オートリビート 内線</p>
<p>内線</p>	<p>3</p> <p>内線 の下の選択ボタンを押します。</p> <p>→ 「ツ・ツ・ツ」音が聞こえます。</p>	<p>内線</p>
	<p>4</p> <p>内線番号をダイヤルします。</p>	<p>呼出中 18</p> <p>誤り 35</p> <p>誤ってダイヤルした場合</p>
	<p>5</p> <p>相手が出たら受話器をとってお話ください。</p>	<p>内線 18</p>

音声で相手を 呼出します

音声呼出

こちら側の声を相手機(内線)のスピーカから出して相手を呼出します。



	<p>受話器をあげるかまたは スピーカ ボタンを押します。</p> <p>→ 「ツ・ツ・ツ」音が聞こえます。</p>	内線
	<p>内線番号をダイヤルします。</p>	呼出中 18
	<p>ダイヤルボタンの①を押します。</p> <p>→ 相手機とこちら側の両方に予告音「ポー」が鳴りません。</p>	音声 18
	<p>呼出しをしてください。</p> <p>(↑でスピーカボタンを押した場合は受話器をとってから呼出しをしてください)</p>	音声 18

メモ

- 相手を通常の呼出音で呼出している途中でこの音声呼出に切替えたいときは、ダイヤルボタンの①を押してください。

内線の相手を一斉に呼出します

内線一斉呼出

こちら側の声を同じテナント内にある全ての内線電話機のスピーカから出して、全員を一斉に呼出します。
テナントについては 72 ページをご覧ください。



	<p>1</p> <p>受話器をあげるかまたは 「スピーカ」ボタンを押します。</p> <p>④ 「ツ・ツ・ツ」音が聞こえます。</p>	<p>内線</p>
	<p>2</p> <p>「ファンクション」ボタンを押して機能表示ランプを図の位置にもっていきます。</p>	<p>電 卓 設 定 アラーム 一 斉</p>
	<p>3</p> <p>「一斉」の下の選択ボタンを押します。</p> <p>④ 未使用の内線電話機全てのスピーカから予告音「ポー」が鳴ります。</p>	<p>一 斉</p>
	<p>4</p> <p>呼出しをしてください。 (1でスピーカボタンを押した場合は受話器をとってから呼出しをしてください)</p>	<p>一 斉 15</p> <p>他の電話機には呼出しをしている人の内線番号が表示されます。</p>

メモ

- 呼出しをうけた人が呼出しをした人と通話するときは、1～3の操作をしてください。
- 一斉呼出しをしても通話中の電話機に呼出しはできません。

内線グループの代表 へ電話をかけます

内線代表

内線グループの代表番号をダイヤルすることによって自動的に、グループ内で使用していない内線を探して呼出すことができます。

データ設定



	<p>1</p> <p>受話器を上げるかまたは [スピーカー] ボタンを押します。</p> <p>→ 「ツ・ツ・ツ」音が聞こえます。</p>	<p>内線</p>
	<p>2</p> <p>代表番号 (例-10) をダイヤルします。</p>	<p>呼出中 10</p>
	<p>3</p> <p>相手が出たら (1で [スピーカー] ボタンを押した 場合は受話器をとって) お話 してください。</p>	<p>内線 12</p> <p>内線12で電話を受けた場合</p>

メモ

- この機能を使用するには、あらかじめ内線代表にする電話機を指定しておく必要があります。詳しくは、工事保守店にご相談ください。
- 代表の内線番号と1の位が連番の内線番号を持つ電話機が同一内線グループになります。
(例) 代表番号を10と16にしたとき
グループ1：内線番号10～14
グループ2：内線番号16～19
- 内線代表の電話が話し中のときは、グループ内で使用していない内線を番号順に探して、空いている内線へ電話がかかります。
- グループ内の全電話機が話し中または不在の場合は、話し中である「ツー・ツー」音が聞こえます。
- 不在転送 (→P. 70) を行うことはできません。

相手の電話機に自分の内線番号を残します

メッセージウェイト

相手が呼出しに応答しない場合に、自分の内線番号を相手のディスプレイに表示して相手に電話をかけたことを知らせることができます。



	<p>1 相手を呼出している「プロロ口」音を確認します。</p>	<p>呼出中 18</p>
	<p>2 ダイヤルボタンの②を押します。 確認音「ツー・ツー・ツー」が鳴ります。</p>	<p>伝言 18</p>
	<p>3 受話器をもどします。 (「スピーカ」ボタンを押してかけた場合は、もう一度スピーカボタンを押します)</p>	<p>14 17-22</p>

PART 3

内線での使いかた

メモ

- メッセージウェイトを取消す場合は、もう一度相手を呼出してください。相手のディスプレイから自分の内線番号が消えます。
- メッセージウェイトは1カ所の相手にしかできません。

相手側のディスプレイ表示

	<p>電話有 15 17-22</p> <p>呼出しをした相手の内線番号と現在の時間が表示されます。</p>
--	--

メモ

- 呼出しを受けた側が、受話器をあげるか「スピーカ」ボタンを押すと、メッセージは取消されません。
- 表示されるのは最初に受けたメッセージのみです。

話し中の相手を 呼出します

話中呼出

相手が他の人と話し中のときでも、こちら側から相手を呼出し、通話することができます。



	1	<p>相手が話し中である「ツーツー」音を確認します。</p>	<p>通話中 18</p>
	2	<p>ダイヤルボタンの③を押します。 ➡ 相手が呼出されます。</p>	<p>呼出中 18</p>

メモ

- 呼出しができるのは相手が内線と通話中のときに限ります。
- 内線代表(→P. 55)に呼出しをしているときは、話中呼出をすることはできません。

呼出しを受けた側

	1	<p>スピーカから呼出音「ツーツー」が聞こえます</p>	<p>内線 15 12 内線12と通話中に内線15から呼出しを受けた場合</p>
	2	<p>フッキング(→P. 44)を行います。 ➡ 呼出した人と話しができます。もう一方の相手にはメロディが流れます。</p>	<p>内線 12 15 保留中 通話中</p>
	3	<p>もう一度フッキングをします。 ➡ 最初の相手と通話できます。</p>	<p>内線 15 12 保留中 通話中</p>

メモ

- フッキングをするたびに相手を変えて通話できます。
- 単独電話機(普通の電話機)では呼出しを受けられません。

相手が話し中のとき 通話が終了したい 呼出します



内線予約

相手が話し中の場合でも、話しが終了したい自動的に呼出します。



	<p>1</p> <p>相手が話し中である「ツーツー」音を確認します。</p>	<p>通話中 18</p>
<p>ファンクション</p>	<p>2</p> <p>ファンクション ボタンを押して、機能表示ランプを図の位置にもっていきます。</p>	<p>短 略 キャンプオン オートリビート 内 線</p>
<p>キャンプオン</p>	<p>3</p> <p>キャンプオン の下の選択ボタンを押します。</p> <p>➔ 確認音「ツーツー・ツーツー」が鳴ります。</p>	<p>終話待 18</p>
<p>4</p>	<p>受話器をもどします。</p> <p>(スピーカ ボタンを押してかけた場合は、もう一度スピーカボタンを押します)</p>	<p>終話待 17-22</p>
<p>5</p>	<p>相手の話しが終ると「ポロポロ」音が鳴ります。</p>	<p>終話</p>



操作は次のページに続きます。

	<p>受話器をとります。</p> <p>➡ 受話器から「ポロロ」音が聞こえます。</p>	<p>呼出中 18</p>
	<p>相手が出たらお話しください。</p>	<p>内線 18</p>

メモ

- 内線予約は1ヶ所の相手にしかできません。
- 4の操作で受話器を上げたまま相手の通話が終わるのを待つこともできます。その場合は、5の操作の「ポロロ・ポロロ」音はありません。
- 5の操作で15秒間受話器をとらないと予約は取消されます。
- 5の操作で相手が再度受話器をとった場合は、「ポロロ・ポロロ」音は止まり、終話待の状態にもどります。
- 転送などで予約した相手から呼出しがあって応答した場合と、予約した相手を出して通話した場合は予約は取消されます。

予約の取消し

	<p>取消 ボタンを押します。</p> <p>➡ スピーカから「ツー・ツー」音が聞こえます。</p>	<p>取消</p>
	<p>キャンブオン の下の選択ボタンを押します。</p>	<p>14 17-22</p>

内線からかかってきた電話を受けます

内線応答

内線から電話がかかってくると、着信音「プルルッ・プルルッ」が鳴ります。




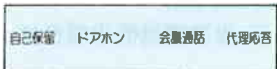




- 特別な操作は必要ありません。
そのまま受話器をとってお話しください。

着信音が鳴っていない電話機で受けます

内線代理応答

着信音が鳴っていない電話機でも電話を受けることができます。



<p>ファンクション</p> 	<p>1</p> <p>ファンクション ボタンを押して、機能表示ランプを図の位置にもっていきます。</p>	
<p>代理応答</p> 	<p>2</p> <p>代理応答 の下の選択ボタンを押します。</p>	 <p>電話をかけてきた相手の内線番号が表示されます。</p>
	<p>3</p> <p>受話器をとってお話しください。</p>	

メモ

○ 受けることのできる電話機は、着信音が鳴っている電話機と同一テナントの電話機に限ります。

内線と通話中の電話を保留します

内線システム保留

内線と通話中の電話を保留します。保留中の電話は、テナント内の他の内線電話機でもとることができます。テナントについては72ページをご覧ください。



通話中		
	1	<p>保留 ボタンを押します。</p> <p>➡ 保留ランプが赤色に点灯します。相手先にはメロディが流れます。</p>
	2	<p>受話器をもどします。</p>

メモ

○ 単独電話機の場合は、受話器を上げたままにしてフッキング(→P. 44)を行います。

保留中の相手と再び話すとき

	1	<p>もう一度 保留 ボタン (赤色に点灯) を押します。</p>
	2	<p>受話器をとります。</p>
	3	<p>お話しください。</p>

メモ

- 保留できるのは、テナント内の1通話に限ります。
- すでに保留している内線番号があるときは、保留ランプが赤色に点滅しています。
- 単独電話機の場合は、受話器を上げた状態でフッキングをもう一度行ってください。


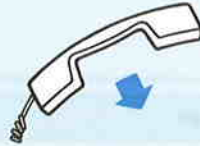

近くにいる 内線の人に 転送します

内線・内線転送 1

内線と通話中の電話をテナント内の別の内線へ転送します。
転送する相手が近くにいる場合の転送です。
テナントについては72ページをご覧ください。



PART 3
内線での使いかた

通話中		
	<p style="font-size: 2em; color: blue; font-weight: bold;">1</p> <p>保留 ボタンを押します。</p> <p>→ 保留ランプが赤色に点灯します。 相手先にはメロディが流れます。</p>	<div style="border: 1px solid gray; padding: 2px; display: inline-block;">内線</div>
	<p style="font-size: 2em; color: blue; font-weight: bold;">2</p> <p>受話器をもどします。</p>	<div style="border: 1px solid gray; padding: 2px; display: inline-block;">14 17-22</div>
	<p style="font-size: 2em; color: blue; font-weight: bold;">3</p> <p>転送したい相手に口頭で伝えます。</p>	<div style="border: 1px solid gray; padding: 2px; display: inline-block;">14 17-22</div>


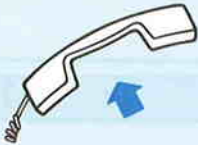

メモ

- 単独電話機の場合は、1の操作の代わりにフッキング(→P. 44)を行います。
受話器をもどしてから転送先が応答するまで単独電話機が鳴ります。



呼ばれた人



 <p>1</p>	<p>赤色に点滅している 保留 ボタンを押します。</p> <p>➡ 転送されました。</p>	<p>内線 18</p>
 <p>2</p>	<p>受話器をとります。</p>	<p>内線 18</p>
 <p>3</p>	<p>お話しください。</p>	<p>内線 18</p>

メモ

- 保留・転送ができるのは、テナント内の1通話に限ります。
- 単独電話機(普通の電話機)の場合は、**保留** ボタンを押す代わりにフッキング(→P. 44)を行い、0をダイヤルしてから相手とお話してください。
- 受けることのできる電話機は、転送元と同じテナント内の電話機に限ります。

離れている 内線の人に 転送します

内線・内線転送2

内線と通話中の電話を別の内線へ転送します。
転送する相手が離れている場合の転送です。



PART 3
内線での使いかた

通話中

1

保留 ボタンを押します。

→ 保留ランプが赤色に点灯します。相手先にはメロディが流れます。

2

転送したい相手の内線番号をダイヤルします。

内線 18

↓

呼出中 18

3

相手が出たら受話器をもどします。

→ 転送されました。

内線 18

↓

14 17-22

メモ





- 転送先が不在や話中のときは、**取消** ボタンを押してから **保留** ボタンを押すもとの相手と通話できます。また、番号を間違えてダイヤルしたときは、**保留** ボタンを押すもとの相手と通話できます。
- 転送先が不在や話し中で、他の内線に転送するときは、**取消** ボタンを押してから内線番号をダイヤルしてください。
- 転送先が話し中でなければ、転送先の内線番号をダイヤルした後相手を確認しないで受話器をもどすことができます。
このとき、30秒以内に転送先が応答しないと、呼返し音が鳴ります。
- 単独電話機(普通の電話機)の場合は、**保留** ボタンのかわりにフッキング(→P.44)をして内線番号をダイヤルしてください。
転送先が不在または話し中のときはもう一度フッキングすると、もとの相手と通話ができます。

外線の相手先に 転送します

外線・外線転送

外線と通話中の電話を別の外線へ転送します。



通話中		外線 12	
	1	<p>[保留] ボタンを押します。</p> <p>➡ 「ツ・ツ・ツ」音が聞こえます。</p>	外線
	2	ランプの消えている [外線] ボタンを押します。	外線
	3	転送したい相手の電話番号をダイヤルします。	外線 7582111
	4	相手が出たら受話器をもどします。	14 17-22

メモ

- 自分の電話機と同じテナント内で外線が保留されているときは、この機能を使うことはできません。
- 単独電話機(普通の電話機)の場合は、[保留] ボタンを押す代わりにフッキング(→P.44)を行い、0をダイヤルしてから転送先の電話番号をダイヤルしてください。

お電話した人已
お電話した

履歴検索

お電話した日時・相手番号・通話時間・通話料
お電話した日時・相手番号・通話時間・通話料

お電話した日時・相手番号・通話時間・通話料

お電話した日時・相手番号・通話時間・通話料

PART 4

外・内線共通の使いかた

3人で通話を します

会議通話

内線・外線を問わず2者間の通話にもう一人加えて、3者による通話ができます。

オプション

データ設定



通話中



1

保留 ボタンを押します。

→ 受話器から「ツ・ツ・ツ」音が聞こえ、保留ランプが赤色に点灯(内線を保留)または外線ランプが緑色(外線を保留)に点滅します。相手先にはメロディが流れます。

内線



2

加えたい相手の電話番号をダイヤルします。

(外線へ電話をかける場合は、**外線** ボタンを押してからダイヤルしてください。)

内線 18

ファンクション



3

電話がつながったら

ファンクション ボタンを押して、機能表示ランプを図の位置にもっていきます。

自己保留 ドアホン 会議通話 代理転番

内線

18

会議通話



4

会議通話 下の選択ボタンを押します。

→ 最初の相手ともつながり3人で通話ができます。

会議

メモ

- 会議通話中は保留ができません。
- 3者のうち1者が電話を切れば、他の2者だけの通話になります。しかし、外線2者と会議通話をしているときに、自分が電話を切ると他の2者の電話も切れてしまいます。
- 会議通話で、他の二者に自分から電話をかけた場合の電話料金は、両通話の合計額が表示されます。ただし通話時間は、他の二者との通話時間が交互に表示されます。

不在のとき自分に電話がかからないようにします

不在設定

外出、会議などで席を離れるときなど、自分の電話機へ電話がかかってこないようにします。



ファンクション	1	ファンクション ボタンを押して、機能表示ランプを図の位置にもっていきます。	
設定	2	設定 の下の選択ボタンを押します。 ④ 「ツーン・ツーン」音が聞こえます。	
1	3	ダイヤルボタンの①を押します。	
*	4	ダイヤルボタンの*を押します。	
設定	5	設定 の下の選択ボタンを押します。	

メモ

○ 不在設定をしている電話機を呼出すと「ツーン・ツーン」音が聞こえます。内線から不在設定をしている電話機にかけた場合にはディスプレイに下図のように表示されます。

不在 15

- ドアホンからの呼出しも無視されます。
- 不在設定をしている電話機から電話をかけることはできます。



取消のしかた

- 取消したい場合は、4の操作で **取消** ボタンを押してください。

不在のとき設定した電話に転送します

不在転送

自分の電話機へかかってくる電話をあらかじめ設定した他の内線電話機へ自動的に転送します。



<p>ファンクション</p>	1	<p>「ファンクション」ボタンを押して、機能表示ランプを図の位置にもっていきます。</p>	
<p>設定</p>	2	<p>「設定」の下の選択ボタンを押します。 ↳ スピーカから「ツー・ツー」音が聞こえます。</p>	
	3	<p>ダイヤルボタンの①を押します。</p>	
	4	<p>転送したい内線番号をダイヤルボタンを使って入力します。</p>	<p>転送先を内線15に設定した場合</p>
<p>設定</p>	5	<p>「設定」の下の選択ボタンを押します。</p>	

PART 4

外・内線共通の使いかた

メモ

- ドアホンからの呼出しも転送されます。
- 転送先が不在転送・不在設定をしても、設定した転送先に電話がかかります。



取消のしかた

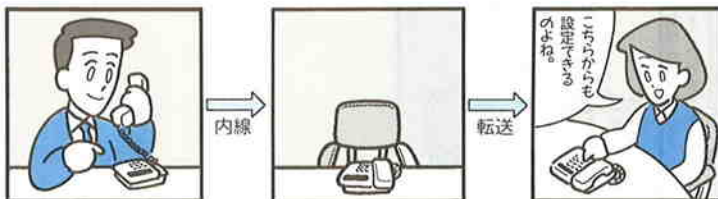
- 取消したい場合は、4の操作で **取消** ボタンを押してください。取消の操作ができるのは、不在転送を設定した自分の電話機に限ります。

転送したい電話機からの設定

- 転送先の電話機から自分の電話機に不在転送を設定する場合は、3の操作でダイヤルボタンの@を押して4の操作は自分の内線番号を入力してください。

メモ

- 自分の電話機が単独電話機の場合は転送できません。
- 転送先の電話機から設定した場合も、取消しは自分の電話機に限ります。



グループごとに 使用する外線を 指定します

テナント

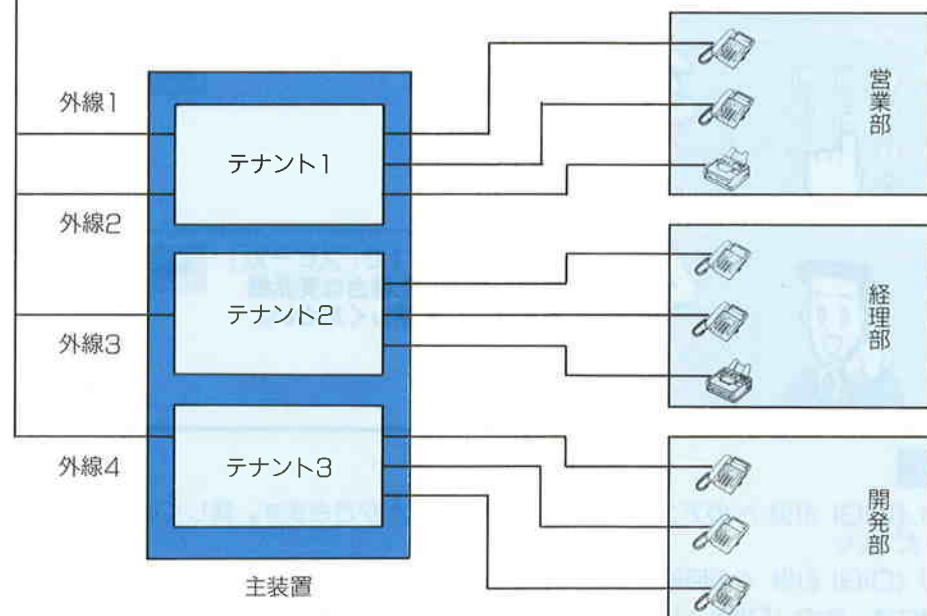
電話機をグループ（テナント）分けして、それぞれのグループで使用する外線を指定することができます。

データ設定



- テナント分けは、データ設定で各外線、各電話機にテナント番号を指定して行います。詳しくは、工事保守店にご相談ください。
- テナントは最大3グループに分けることができます。
- 外線に電話をかけるときは、テナント内の外線に限り使用することができます。
- 一つの電話機は複数のテナントに属することはできません。
- 通常、他のテナントで使用する外線ボタンは、消えたままになります。

NTT、PBX等



(例) テナント1（営業部）で使用する外線を外線1、2、テナント2（経理部）の外線を外線3、テナント3（開発部）の外線を外線4とテナント分けしたとき。

メモ

- 全テナントで共通して使うことのできる外線をデータ設定で指定することができます。詳しくは、工事保守店にご相談ください。
- 外線からかかってきた電話を他のテナントに転送した場合は、転送先のテナント内に限り保留応答することができます。
- テナントを解除することもできます。詳しくは、工事保守店にご相談ください。

接続されている他の《DIGI 619》に電話をかけます

システム間接続

本機と接続している他の《DIGI 619》の電話機に電話をかけます。また、その《DIGI 619》を通して外線へ電話をかけることもできます。

オプション データ設定

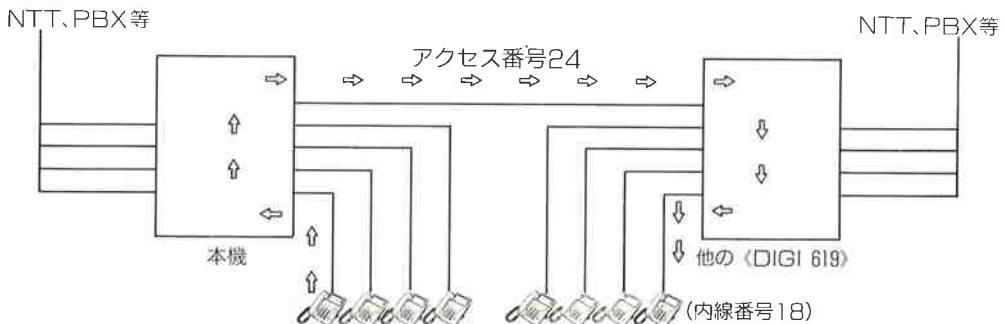
他の《DIGI 619》の内線にかけるとき



<p>1</p>	<p>受話器を上げるかまたは スピーカー ボタンを押します。</p> <p>➡ 「ツ・ツ・ツ」音が聞こえます。</p>	<p>内線</p>
<p>2</p>	<p>他の《DIGI 619》へのアクセス番号(例-24)をダイヤルします。</p>	<p>通信中 24</p> <p>↓</p> <p>通信中</p>
<p>3</p>	<p>相手の内線番号をダイヤルします。</p>	<p>通信中 18</p>
<p>4</p>	<p>相手が出たら(1でスピーカーボタンを押した場合は受話器をとって) お話してください。</p>	<p>通信中 18</p>

メモ

- 他の《DIGI 619》へのアクセス番号は変更することができます。詳しくは、工事保守店へご相談ください。
- 他の《DIGI 619》との回線が使用中の場合には話し中である「ツー・ツー」音が聞こえます。
- 本機には、他の《DIGI 619》を1台接続することができます。



(例) 本機からアクセス番号24をダイヤルして他の《DIGI 619》の内線番号18にかけたとき。

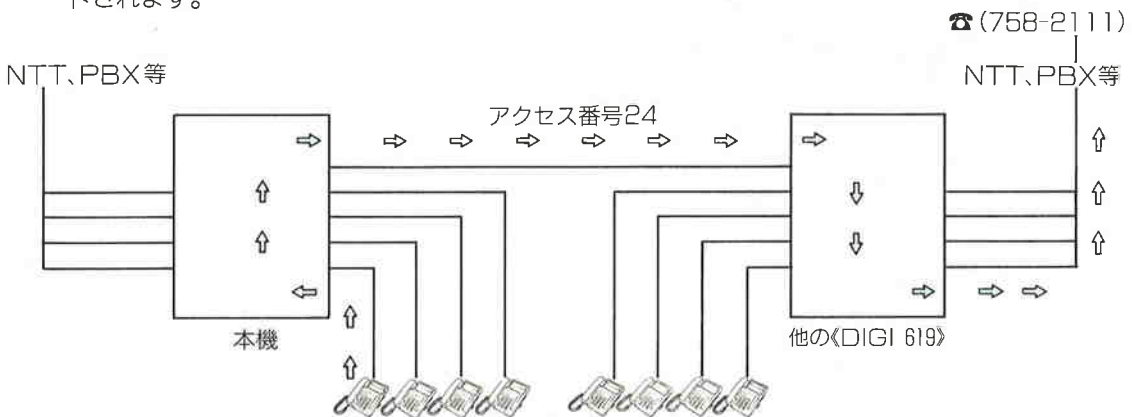
他の《DIGI 619》を通して外線へかけるとき



<p>1</p>	<p>受話器を上げるかまたは 「スピーカー」ボタンを押します。</p> <p>→ 「ツ・ツ・ツ」音が聞こえます。</p>	<p>内線</p>
<p>2</p>	<p>他の《DIGI 619》へのアクセス番号(例「24」)をダイヤルします。</p>	<p>通信中 24</p> <p>↓</p> <p>通信中</p>
<p>3</p>	<p>0をダイヤルしてから相手の電話番号をダイヤルします。</p>	<p>通信中 07582111</p>
<p>4</p>	<p>相手が出たら(1で「スピーカー」ボタンを押した場合は受話器をとって)お話しください。</p>	<p>通信中 07582111</p>

メモ

○ 他の《DIGI 619》を使って外線へ電話をかけた場合、通話料金は他の《DIGI 619》側にカウントされます。



(例) 本機からアクセス番号24をダイヤルして他の《DIGI 619》を通して外線 (758-2111) へかけたとき。



元通手帳案内

千歳市図書館内の図

千歳市図書館内の図

千歳市図書館内の図



千歳市図書館内の図



千歳市図書館内の図

PART 5

さらに便利な機能

千歳市図書館内の図



自分の内線番号と端子番号を確認します

内線番号表示

自分の電話機の端子番号*と内線番号を表示します。

* 端子番号：主装置と各電話機を接続している端子の番号



1 ファンクション ボタンを押して、機能表示ランプを図の位置にもっていきます。

2 設定 の下の選択ボタンを押します。
→ スピーカから「ツー・ツー」音が聞こえます。

3 ダイヤルボタンの⑧を押します。
→ 表示は、5秒間で消えます。

番号 03 21
端子番号 内線番号

ダイヤルボタンを押すと音がします

キーイントーン

ダイヤルボタンとワンタッチダイヤルボタンを押したときに「ピッ・ピッ」と音が鳴ります。この音をキーイントーンと呼びます。



- キーイントーンを鳴らしたくない場合は、フックボタンを押しながら受話音量調整ボタンを押してください。
- 受話音量調整ボタンを押すたびに“鳴る”、“鳴らない”が切替わります。

トーン信号によって各種サービスを受けます

PB信号送出

本機がパルス(回転ダイヤル式)回線に接続されていてもトーン信号による各種サービスが受けられます。



- 通常の電話の要領でサービスセンターに電話をかけ、相手が出たらダイヤルボタンのⓈを押します。以降、トーン(プッシュホン)信号が発信できるようになりサービスが受けられます。

メモ

- メモダイヤルを使用しているときは、この機能を使うことはできません。
- トーン信号によるサービスには、銀行の残高照会、航空券予約、株式売買などがあります。

ダイヤラーを使用し て電話をかけます




ダイヤラー発信

送話口からダイヤラーを使用して発信します。

オプション

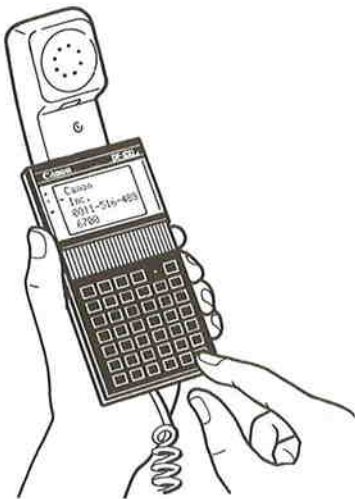


	<p>1 ランプの消えている 外線 ボタンを押します。</p>	
<p>ファンクション</p> 	<p>2 ファンクション ボタンを押して、機能表示ランプを図の位置にもっていきます。</p>	
<p>設定</p> 	<p>3 設定 の下の選択ボタンを押します。</p>	
	<p>4 受話器をとります。</p>	

	<p>5 ダイヤラーを受話器にあてて電話番号を入力します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ➔ 入力した番号が表示されます。 ➔ ダイヤラーの操作についてはお手持ちのダイヤラーの使用説明書をご覧ください。 	<p>PB 7582111</p>
<p>設定</p> 	<p>6 「設定」の下の選択ボタンを押します。</p>	<p>外線 7582111</p>
	<p>7 相手が出たらお話しください。</p>	<p>外線 7582111</p>

メモ

- 外線発信のときに限り使用することができます。
- 操作の5で表示された電話番号にダイヤルボタンを押して番号を追加することもできます。



電話がかけられる区域を設定します

サービスクラス

各電話機に0～5までのサービスクラス（発信可能区域）を設定し、市内や市外などへの発信を規制することができます。

データ設定



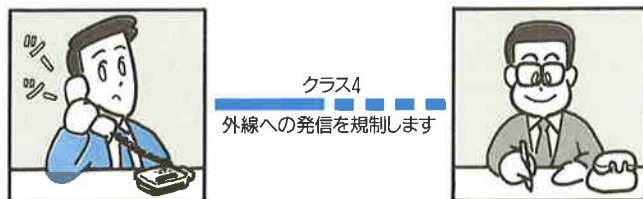
●各サービスクラスを設定したときの規制は以下のようになります。

- クラス0……………規制なし。
- クラス1……………国際電話はかけられません。
- クラス2……………特定区域以外の市外電話はかけられません。
- クラス3……………すべての市外電話はかけられません。
- クラス4……………PBXの内線電話のみ使うことができます。
- クラス5……………《DIGI 619》内の内線電話のみ使うことができます。

●サービスクラスの設定、クラス2の特定区域の設定については、工事保守店にご相談ください。

メモ

- サービスクラスを設定した区域に電話をかけようとしても「ツ・ツー」音が聞こえるだけで発信できません。
- 短縮ダイヤルの00～79に登録されている電話番号は、クラス5を除いて規制の対象とはなりません。



着信専用の外線を 設定します

発信規制

外線への発信をできないようにして着信専用の外線を設定します。

データ設定



- 発信規制を行うにはデータ設定が必要です。
詳しくは、保守工事店にご相談ください。

メモ

- 発信できないように設定した **外線** ボタンを押しても「ツ・ツー」音が聞こえるだけで発信できません。
- 受話器を上げたときに直接外線につながるよう設定されているときは、発信規制した外線以外の空いている外線が自動的に選択されます。

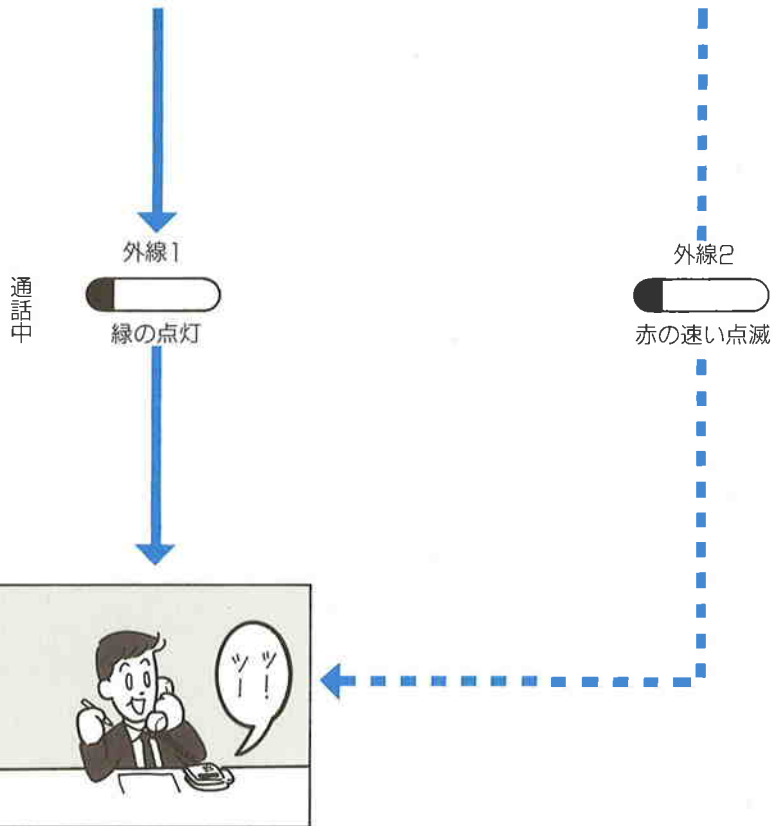
通話中にかかってきた 外線からの電話を 知らせてくれます

話中着信

通話中、外線からの着信があったときに「ツー・ツー」音で知らせてくれます。



(例) 外線1で話し中のときに外線2の電話がかかってきたとき



外線からの電話が1台の電話機に集中してかかるようにします

集中着信

外線の着信モードを“集中着信”に切替えることにより外線からの電話を1台の電話機で集中して受けることができます。夜間・休日ですべての外線電話を留守所で受けたいときなど便利です。

データ設定



<p>ファンクション</p>	1	<p>ファンクション ボタンを押して、機能表示ランプを窓の位置にもっていきます。</p>	
<p>設定</p>	2	<p>設定 の下の選択ボタンを押します。</p> <p>⇒ スピーカから「ツー・ツー」音が聞こえます。</p>	
<p>2</p>	3	<p>集中着信の設定をする 外線 ボタンを押します。</p>	
<p>5</p>	4	<p>集中着信の着信モード (5) をダイヤルボタンを使って入力します。</p>	
<p>設定</p>	5	<p>設定 の下の選択ボタンを押します。</p>	

説明は次のページに続きます。

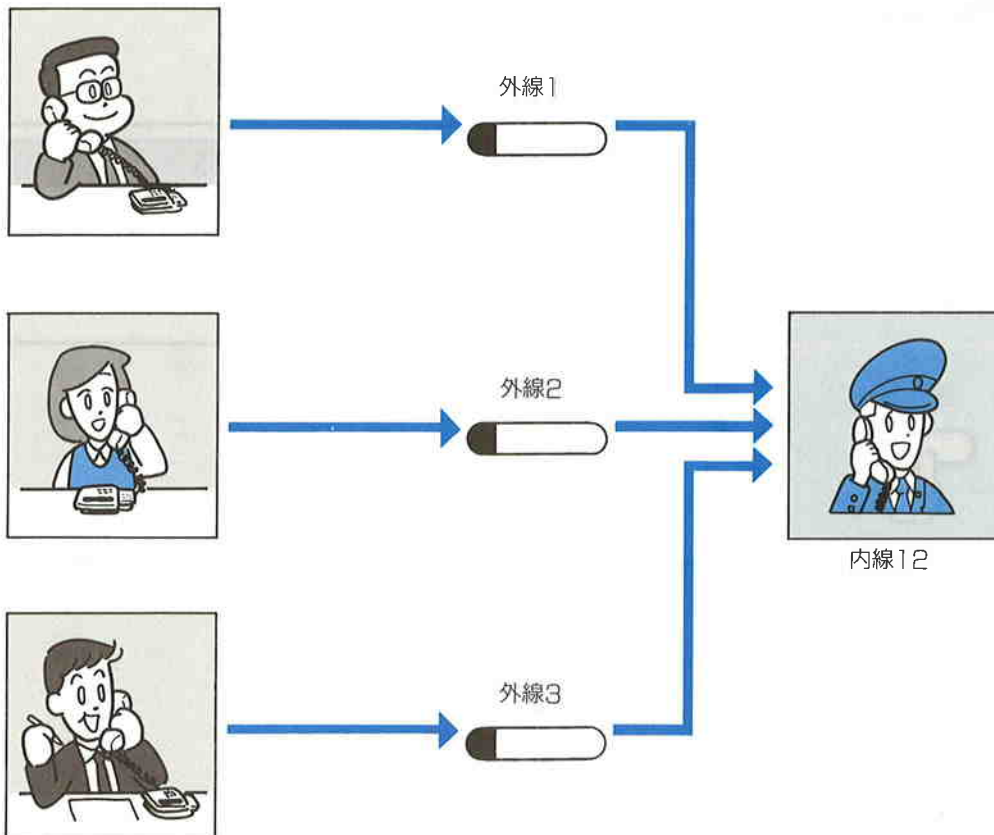
PART 5

さらに便利な機能

メモ

- 着信モードを通常の着信モードにもどすときは、4の操作でダイヤルボタンの◎を押します。
- テナント（→P. 72）に関係なく外線ごとに集中着信する電話機を1台設定することができます。設定については、工事保守店にご相談ください。
- この集中着信の設定は、必要に応じて外線ごとに設定します。
- 各外線の着信モードは、昼間、夜間、休日用それぞれを設定することができます。夜間の一定時間を集中着信にしたいときなどは、着信モードを切替える時刻を設定して、全外線の着信モードを自動的に夜間用に切替えることができます。詳しくは、「夜間／休日用に着信モードを切替えます」（→P.102）をご覧ください。
- 着信モードを集中着信にしているとき、不在設定（→P. 68）や不在転送（→P. 70）の登録は無視されます。

（例） 外線1、2、3にかかってくる電話をすべて内線12の
守衛の電話機に着信するように設定したとき



外線からの電話を FAXに着信させ ます

FAXスライド着信

外線の着信モードを“FAXスライド着信”に切替えることにより、外線からの電話に電話機が一定時間（15秒）応答しないときは、自動的にFAXへ着信させることができます。夜間、休日など人がいないときに、外線をFAX受信専用を使用することができます。



<p>ファンクション</p>	<p>1</p> <p>ファンクション ボタンを押して、機能表示ランプを図の位置にもっていきます。</p>	
<p>設定</p>	<p>2</p> <p>設定 の下の選択ボタンを押します。</p> <p>④ スピーカから「ツー・ツー」音が聞こえます。</p>	
<p>2</p>	<p>3</p> <p>FAXスライド着信の設定をする 外線 ボタンを押します。</p>	
<p>7</p>	<p>4</p> <p>FAXスライド着信の着信モード(7)をダイヤルボタンを使って入力します。</p>	
<p>設定</p>	<p>5</p> <p>設定 の下の選択ボタンを押します。</p>	

メモ

- 着信モードを通常の着信モードにもどすときは、4の操作でダイヤルボタンの◎を押します。
- スライド着信を行うには、着信する電話機と同じテナント（→P. 72）内にFAXが必要です。
- FAXが使用中（ファクスランプが赤色の点灯）のときは、FAXには着信できません。
- このFAXスライド着信の設定は、必要に応じて外線ごとに設定します。
- 各外線の着信モードは、昼間、夜間、休日用それぞれ設定することができます。夜間の一定時間をスライド着信にしたいときなどは、着信モードを切替える時刻を設定して、全外線の着信モードを自動的に夜間用に切替えることができます。詳しくは、「夜間/休日用に着信モードを切替えます」（→P. 102）をご覧ください。

外線からの電話を 直接内線にかか るようにします

ダイヤルイン

内線電話機に個別のNTT番号をつけることにより外線を直接内線に着信させることができます。

オプション データ設定



- この機能をご利用になるときは、NTTとのダイヤルインサービスの契約が必要です。また、ご利用できない地域があります。詳しくは最寄りのNTT窓口へお問合わせください。
- ダイヤルインを行うには、各種データ設定が必要です。詳しくは、工事保守店にご相談ください。
- ダイヤルインを行うには、外線の着信モードが通常着信になっている必要があります。

メモ

- ダイヤルインで着信した場合は、専用の着信音「トゥル・トゥルルルー」が鳴ります。
- ダイヤルインで電話がかかってきても、その電話機が話し中や不在設定をしているときは、通常の外線着信となります。
- テナント（→P.72）の設定にかかわらずダイヤルインは行われます。
- 着信側の電話機が20秒たっても応答しない場合、ダイヤルイン着信を解除して通常の外線着信になるように設定することができます。詳しくは、工事保守店にご相談ください。

外線ごとに、受ける ことのできる電話機 を設定します

ダイレクト・イン・ライン (DIL着信)

通常、外線から電話がかかってきたときは、どの内線電話でも受けることができますが、着信モードを“DIL着信”に切替えて、特定の内線電話機1台でしか受けられないようにすることができます。

データ設定



	1	<p>ファンクション ボタンを押して、機能表示ランプを窓の位置にもっていきます。</p>	
	2	<p>設定 の下の選択ボタンを押します。</p> <p>→ スピーカから「ツー・ツー」音が聞こえます。</p>	
	3	<p>DIL着信の設定をする 外線 ボタンを押します。</p>	
	4	<p>DIL着信の着信モード (8) をダイヤルボタンを使って入力します。</p>	
	5	<p>設定 の下の選択ボタンを押します。</p>	

説明は次のページに続きます。

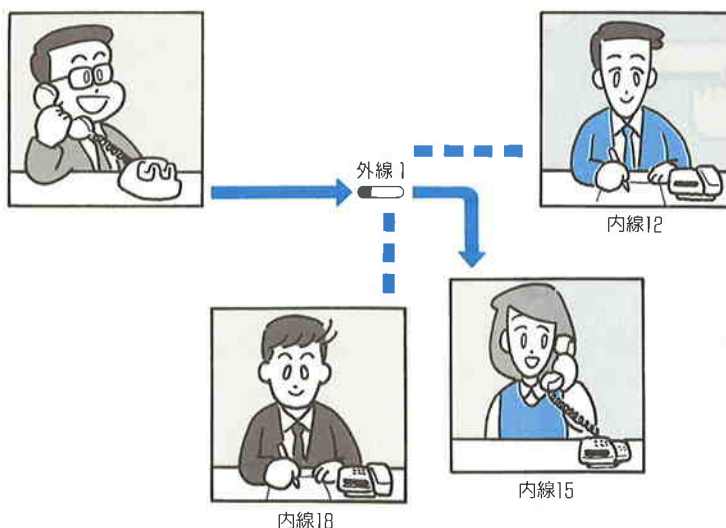
PART
5

さらに便利な機能

メモ

- 着信モードを通常の着信モードにもどすときは、4の操作でダイヤルボタンの◎を押します。
- 指定した電話機だけに着信音が鳴ります。鳴っていない電話機では、通常の外線応答②(→P. 34)の操作を行っても電話を受けることはできません。着信音が鳴っていない電話で受けたいときは、代理応答(→P. 60)を行います。
- テナント(→P. 72)に関係なく外線ごとに電話機を1台設定することができます。設定については、工事保守店にご相談ください。
- このDIL着信の設定は、必要に応じて外線ごとに行います。
- 各外線の着信モードは、昼間、夜間、休日用それぞれを設定することができます。決まった時間帯だけDIL着信にしたいときなどは、着信モードを切替える時刻を設定して、全外線の着信モードを自動的に昼間(または夜間)用に切替えることができます。詳しくは、「夜間/休日用に着信モードに切替えます」(→P. 102)をご覧ください。
- 指定した電話機が不在設定(→P. 68)の設定をしているときは、DIL着信はできません。
- 指定した電話機が不在転送(→P. 70)の設定をしているときは、転送先にDIL着信が行われます。
- 指定電話機が20秒たっても応答しない場合、DIL着信を解除して通常の外線着信になるように設定することができます。詳しくは、工事保守店にご相談ください。

(例) 外線1に対して内線15をダイレクト・イン・ラインに設定したとき



例えば外線1に電話がかかってきたときに、通常すべての内線電話機(12、15、18)で受けられますが、DIL着信にすると内線15の電話機が鳴るだけで、他の電話機では通常の外線応答の操作を行っても、その電話を受けることができません。(他の電話機で受ける必要があるときは、代理応答を行います。)

外線ごとに、着信音の 鳴る電話機を 設定します

着信鳴動指定

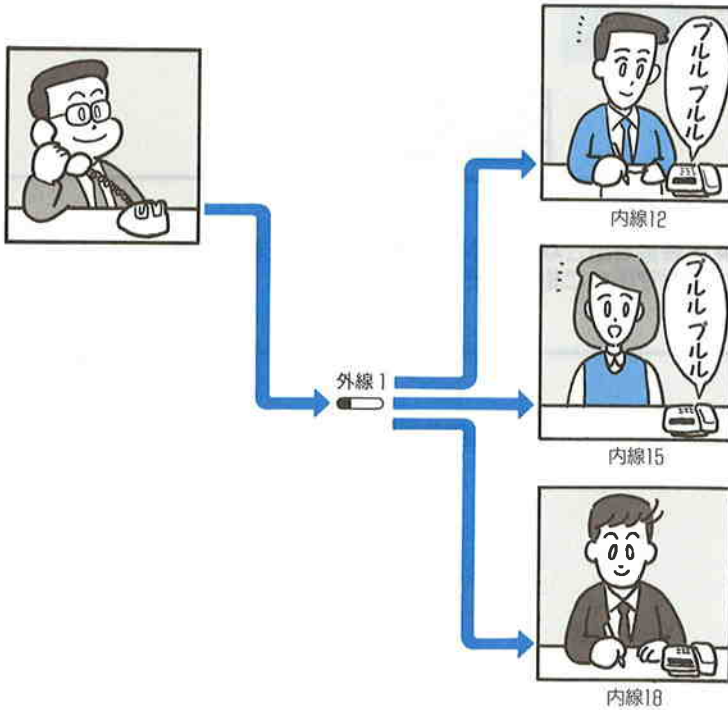
着信音が鳴る電話機を外線ごとに設定できます。

データ設定



- 各外線ごとの着信音を鳴らす電話機の設定は、工事保守店にご相談ください。
- テナント(→P. 72)外の電話機を鳴動指定しても無視されます。

(例) 外線1にかかってくる電話を内線の12と15の電話機だけ着信音が鳴るようにします。



外線ごとに、着信音の音を変えます

外線別着信音

外線ごとに着信音の音色を変えることができます。音色は2種類のうちから選択できます。

データ設定



- 着信音の選択については、工事保守店にご相談ください。

メモ

- ダイヤルインで着信した場合は、ここでの設定とは別に専用の着信音「トゥル・トゥルルルー」が鳴ります。

警告音を出して長電話を防ぎます

長時間通話警報

外線との通話中に、一定の間隔で警告音が鳴ります。



- 警報音を出さないように設定することもできます。詳しくは、工事保守店にご相談ください。

メモ

- 警告音は、通話を始めてから開始後2分30秒後に鳴り、その後3分間隔でスピーカから鳴ります。



警告音を出して 長時間の保留を 防ぎます

保留警報

外線との通話を保留状態のまましていると、スピーカから警告音が鳴り、外線ランプが緑色の速い点滅に変わります。



- 警報音を出さないように設定することもできます。詳しくは、工事保守店にご相談ください。

メモ

- 警告音は、1分間隔でスピーカから鳴ります。
- 警告音は、保留した電話機のみに出されます。

着信音を外部のスピーカ から出します

ベル拡声

電話機の着信音を外部のスピーカから同時に鳴らすことができます。

データ設定 オプション



- ベル拡声を行うには、各種データ設定が必要です。詳しくは、工事保守店にご相談ください。

メモ

- ベル拡声ができる電話機は1台に限ります。
- ドアホン(→P.111)、構内放送(→P.114)を使用中は、この機能を使うことはできません。

保留メロディを選択 します

保留メロディ選択

保留メロディの種類を選択します。



<p>ファンクション</p>	<p>1</p> <p>ファンクション ボタンを押して、機能表示ランプを図の位置にもっていきます。</p>	
<p>設定</p>	<p>2</p> <p>設定 の下の選択ボタンを押します。</p> <p>→ スピーカから「ツー・ツー」音が聞こえます。</p>	
<p>保留</p>	<p>3</p> <p>保留ボタンを押します。</p> <p>→ 現在の保留メロディの種類が番号で表示されます。</p>	
	<p>4</p> <p>流したい保留メロディの種類をダイヤルボタンで押します。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>保留メロディの種類</p> <p>0……メヌエット(内線、外線)</p> <p>1……ノクターン(内線、外線)</p> <p>2……メヌエット(内線)、外部音源を使った保留音(外線)</p> <p>3……ノクターン(内線)、外部音源を使った保留音(外線)</p> </div> <p>→ 表示は5秒間で消えます。</p>	

外部音源の保留音を流します

外部保留音

外部音源（オプション）を使用してお客様独自の保留音を流すことができます。

オプション データ設定



- 外部音源の使用については、データ設定が必要です。詳しくは、工事保守店にご相談ください。

メモ

- 外部音源の保留音は、外線を保留したときに限り使用することができます。内線を保留したときは、通常の保留メロディ（メヌエットまたはノクターン）が流れます。

PART
5

さらに便利な機能

受話器を置いたまま 通話できます

ハンズフリー通話

受話器をおいた状態で通話ができます。



○タイプ(ハンズフリー機)のみ

電話のかけかた

1. **スピーカ** ボタンを押します。
④ **スピーカ** ランプが赤色に点灯します。
2. 相手の電話番号をダイヤルします。
3. 相手が出たら、**マイクボタン**を押します
 - マイクのスイッチを常にONの状態に設定したときは、この操作は不要です。

電話の受けかた

1. 着信音が鳴ったら、**スピーカ** ボタンを押します。
④ **スピーカ** ランプが赤色に点灯します。
 2. **マイクボタン**を押します。
 - マイクのスイッチを常にONの状態に設定したときは、この操作は不要です。
- 通話を切るときは、**スピーカ** ボタンを押します。
 - ワンタッチダイヤルボタンの一番下のボタンがマイクのスイッチになります。このボタンを1回押すとスイッチがONになり、さらに1回押すとOFFになります。
 - スピーカランプはマイクのスイッチがONのとき、緑色に点灯します。また、OFFのとき赤色に点灯します。
 - 通話は交互に行ってください。相手と同時に話すと、声かとざれる場合があります。

メモ

- マイクのスイッチは出荷時、OFFの状態になっていますが、次ページの操作でONの状態にしておくこともできます。このときは、マイクボタンを1回押すとスイッチがOFFになり、さらに1回押すとONになります。

マイクのスイッチの切替えかた(ONの状態にしておく場合)

 <p>ファンクション</p>	<p>1</p> <p>ファンクション ボタンを押して、機能表示ランプを図の位置にもっていきます。</p>	
 <p>設定</p>	<p>2</p> <p>設定 の下の選択ボタンを押します。</p> <p>➡ スピーカ ランプが赤色に点灯します。</p>	
 <p>スピーカ</p>	<p>3</p> <p>スピーカ ボタンを押します。</p>	

メモ

- マイクのスイッチがすでにONの状態にしてある場合は、**2**の操作で **設定** の下のボタンを押すと **スピーカ** ランプが緑色に点灯します。

機能ボタンや操作をワンタッチダイヤルボタンに登録します

フレキシブルアサイン

ワンタッチダイヤルボタンには電話番号だけでなく「設定」「アラーム」などの機能ボタンを登録したり、例えば不在設定などの一連の操作を登録したりすることができます。



- 登録のしかたはワンタッチダイヤルの登録(→P. 24)と同じです。電話番号の代わりに、機能ボタンや数字を入れてください。
- 「ファンクション」ボタン、電卓の機能ボタンは登録できません。
- 「設定」と「取消」と「外線」と「リダイヤル」の登録をするときには受話器をあげてから、それぞれのボタンを押してください。
- 登録・設定の操作中は、フレキシブルアサインは無効です。





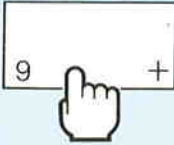



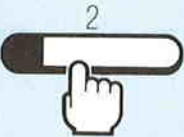



登録できる機能ボタンとディスプレイ表示との対応

機能ボタン	ディスプレイ表示
設定	F12.
アラーム	F13.
一斉	F14.
自己保留	F21.
ドアホン	F22.
会議通話	F23.
代理応答	F24.
短縮	F31.
キャンプオン	F32.
オートリピート	F33.
内線	F34.

機能ボタン	ディスプレイ表示
外線5	F41.
外線6	F42.
外線3	F51.
外線4	F52.
外線1	F61.
外線2	F62.
ファクス	F53.
取消	F71.
リダイヤル	F72.
スピーカ	F73.
保留	F74.

1～3と10の操作でワンタッチダイヤルの登録操作を行い、その間、4～9の操作で通常の電話番号を入力する代わりに転送電話の操作を登録します。

(例) 外線2の着信モードを転送電話にする操作をワンタッチダイヤルボタンの9に登録。

	<p>1</p> <p>ファンクション ボタンを押して、機能表示ランプを窓の位置にもっていきます。</p>	
	<p>2</p> <p>設定 の下の選択ボタンを押します。</p> <p>→ スピーカから「ツー・ツー」音が聞こえます。</p>	
	<p>3</p> <p>ワンタッチダイヤルボタンの9を押します。</p>	
	<p>4</p> <p>受話器を上げ、設定 の下の選択ボタンを押します。</p>	
	<p>5</p> <p>着信モードを切替える外線ボタンを押します。</p>	
	<p>6</p> <p>受話器をもどします。</p>	

操作は次のページに続きます。

	<p>7 転送電話の着信モード6をダイヤルボタンで押します。</p>	<p>09 F 12F626</p>
	<p>8 受話器を上げ、設定 の下の選択ボタンを押します。</p>	<p>09 F 12F626F 12</p>
	<p>9 受話器をもどします。</p>	<p>09 F 12F626F 12</p>
	<p>10 設定 の下のボタンを押します。</p>	<p>14 17-22</p>

メモ

- 登録する操作の中に、**設定** ボタンや **外線** ボタンを押す操作があるときは、一度受話器を上げてからそれらのボタンを押して登録します。

ファクシミリ通信網 を利用します

FAX無鳴動着信

ファクシミリ通信網からの受信を着信音なしで行うことができます。

オプション データ設定

- この機能をご利用になるときは、NTTと第2種利用契約を結ぶ必要があります。詳しくは、最寄りのNTT窓口へお問い合わせください。
- 接続するFAXには、データ設定が必要です。詳しくは、工事保守店にご相談ください。

メモ

- ファクシミリ通信網を利用できるのは、外線6(オプション)に限ります。
- Eタイプ電話機に接続されたFAXは、受信時に着信音が鳴ります。
- ファクシミリ通信網を利用することにより、以下のサービスを受けることができます。詳しくはNTTにお問い合わせください。
 1. 自動受信
 2. 発信者電話番号などの自動記載
 3. 再コール
 4. 送達通知
 5. 不達通知
 6. 短縮ダイヤル
 7. 同報通信
 8. 案内サービスの利用
 9. ファクシミリボックス
 10. 閉域接続
 11. コンピュータとの通信

PART
5

さらに
便利な
機能

外線の着信モードを一時的に変更します

着信モード切替

本機は、時間帯(昼間、夜間)や休日に合わせて、全外線の着信モードを一度に切替えることができますが、ここでは、1外線だけの着信モードの切替えを行います。

夜間、守衛所に集中着信するように設定されている外線を仕事で使う外線のみを通常着信に切替えたいときなどに便利です。



<p>ファンクション</p> 	<p>1</p> <p>「ファンクション」ボタンを押して、機能表示ランプを図の位置にもっていきます。</p>	
<p>設定</p> 	<p>2</p> <p>「設定」の下の選択ボタンを押します。</p> <p>➡ 「ツー・ツー」音が聞こえます</p>	
<p>2</p> 	<p>3</p> <p>着信モードの設定をしたい外線ボタンを押します。</p>	
<p>① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ * 0</p> 	<p>4</p> <p>着信モード番号をダイヤルボタンで押します。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>着信モード</p> <ul style="list-style-type: none"> 0. 通常着信 1. 音声メッセージ応答1 2. 音声メッセージ応答2 3. 音声メッセージ応答3 4. 音声メッセージ応答4 5. 集中着信 6. 転送電話(外線・外線転送1) 7. FAXスライド着信 8. DIL着信 </div> <p>オプションが必要です。</p>	
<p>設定</p> 	<p>5</p> <p>「設定」の下の選択ボタンを押します。</p>	

メモ

- モードを切替えしようとする外線が使用中のときは、モードを切替えることはできません。
- 着信モードの切替えは、外線ごとに設定する必要があります。
- 夜間切替、休日切替(→P. 102)用の着信モードが設定されているときは、この着信モード切替でモードを変更しても昼間→夜間(夜間→昼間)、昼間→休日(休日→昼間)にモード変更したときに、夜間切替、休日切替で指定した着信モードにもどります。
- 1~4の着信モード(音声メッセージ応答)は全外線に共通で、外線ごとに異なった音声メッセージを指定することはできません。

夜間／休日用に着信モードを切替えます









夜間／休日切替

全外線の着信モードを自動または手動により夜間／休日用に切替えることができます。夜間切替を行う時刻が不規則なときや休日切替をするときにこの操作を行います。

データ設定

手動切替のしかた



 <p>ファンクション</p>	<p>1 ファンクション ボタンを押して、機能表示ランプを図の位置にもっていきます。</p>	
 <p>設定</p>	<p>2 設定 の下の選択ボタンを押します。</p> <p>➡ スピーカから「ツー・ツー」音が聞こえます。</p>	
 <p>#</p>	<p>3 ダイヤルボタンの#を押します。</p>	
 <p>1 2</p>	<p>4 ダイヤルボタンの①（夜間切替）または②（休日切替）を押します。</p>	 <p>休日切替をしたときは「休日」と表示されます。</p>

PART 5

さらに便利な機能

メモ

- 夜間切替、休日切替を行うには、あらかじめ通常(昼間)、夜間、休日の着信モードを外線ごとに設定しておく必要があります。設定については、工事保守店にご相談ください。

通常(昼間)モードへのもどしかた

- 夜間モードから通常(昼間)モードにもどすときは、前ページの1~3の操作に続いてダイヤルボタンの①を押します。
- 休日モードから通常(昼間)モードにもどすときは、前ページの1~3の操作に続いてダイヤルボタンの②を押します。

メモ

- 着信モードを切替える時刻を設定しておくことにより、自動的に通常(昼間)、夜間相互の着信モードを切替えることができます。
- 前ページの操作のように手動で夜間の着信モードに切替えても、着信モードを切替える時刻を設定しているときは、自動的に通常(昼間)モードにもどります。
- 休日の着信モードから通常(昼間)の着信モードに切替えるときは、手動で行います。

通常(昼間)、夜間の相互の着信モードを自動的に切替えます。

自動切替のしかた

(例) 8時と20時に外線の着信モードを切替えるとき。



<p>ファンクション</p>	<p>1</p> <p>「ファンクション」ボタンを押して、機能表示ランプを図の位置にもっていきます。</p>	
<p>設定</p>	<p>2</p> <p>「設定」の下の選択ボタンを押します。</p> <p>→ スピーカから「ツー・ツー」音が聞こえます。</p>	
	<p>3</p> <p>ダイヤルボタンの④を押します。</p>	
	<p>4</p> <p>ダイヤルボタンの③を押します。</p> <p>→ 現在の切替時刻が表示されます。</p>	
	<p>5</p> <p>ダイヤルボタンを押して新たに切替時刻を入力します。</p>	
<p>設定</p>	<p>6</p> <p>「設定」の下のボタンを押します。</p>	

メモ

- 休日切替については手動切替で行います。

ワンタッチ／短縮ダイヤルのリストをFAXに出力します

ワンタッチ／短縮ダイヤル出力

ワンタッチダイヤル、システム短縮ダイヤル、電話機別短縮ダイヤルに登録してある電話番号のリストをFAXに出力します。



<p>ファンクション</p>	<p>1</p> <p>ファンクション ボタンを押して、機能表示ランプを図の位置にもっていきます。</p>	
<p>設定</p>	<p>2</p> <p>設定 の下の選択ボタンを押します。</p> <p>⇒ スピーカから「ツー・ツー」音が聞こえます。</p>	
<p>ファンクション</p>	<p>3</p> <p>ファンクション ボタンを押して、機能表示ランプを図の位置にもっていきます。</p>	
<p>短縮</p>	<p>4</p> <p>短縮 の下の選択ボタンを押します。</p>	
<p>ファクス</p>	<p>5</p> <p>ファクス ボタンを押します。</p>	
	<p>6</p> <p>出力したいリストをダイヤルボタンで押します。</p> <p>出力リスト</p> <ul style="list-style-type: none"> 0.....システム短縮ダイヤル 1.....電話機別短縮ダイヤル 2.....ワンタッチダイヤル 	

PART 5

さらに便利な機能

メモ

説明は次のページに続きます。

- ワンタッチダイヤルには機能ボタンや操作も登録することができます。
- ワンタッチダイヤルに登録してある機能ボタンは、その機能ボタンのファンクションコードがワンタッチダイヤルの登録リスト上に出力されます。
- ワンタッチダイヤルの登録リストを出力した後、ファンクションコードのリストも続けて出力されます。
- 出力するFAXが使用中のときは、一定時間(1分間)出力するのを待ちますが、1分を過ぎてもまだ使用中のときは出力されません。
- 出力先FAXがEタイプ電話機に接続されている場合は、Eタイプ電話機の **ファクス** ボタンを押して自動受信モードにしてください。

***** システム短縮ダイヤル *****

89.12.13 08:54

NO.	ダイヤル	NO.	ダイヤル	NO.	ダイヤル
00	7582111	01	4559633	02	064445821
03	0166256251	04	0155247907	05	0112311313
06	0177751666	07	0188348281	08	0222673981
09	0236314250	10	0196468710	11	0249235618
12	0292248934	13	0252432111	14	0988672104
				17	0245935529

***** 電話機別短縮ダイヤル *****

89/12/13/08:56

内線番号 10

80	0262342270	81	0263265548	82	0552263155
83	0272245033	84	0486649110	85	0286359797
86	0764334631	87	0762911215	88	0775247330
89	0822417241				

内線番号 12

80	0472615120	81	0453121991	82	0425245236
83	0462238221	84	0559626220	85	0452512488
86	0252432111	87	0298892418	88	3498519
89	3425428				

***** ワンタッチダイヤル *****

89/12/13/08:58

内線番号 10

01 0525650911	02 0582667811	03 0564248191
04 0592269788	05 0764334631	06 0762911215
07 0734313186	08 0775247330	09 0742628061
10 0752410216	11	12
13	14 0792818085	15 0595243111
16 0463542211		

内線番号 12

01 0878223666	02 0886542251	03 0899462782
04 0888232553	05 0822417241	06 0849252421
07 3482121	08 0448112111	09 0447336111
10	11	12 0298891881
13 7232111	14 0286675111	15 B#1
16 B#2		

ワンタッチダイヤルボタンは01～10までです。
 「外線」ボタンの1～6は、外線に接続されていない限り、ワンタッチダイヤルボタンの11～16として使用することができます。この場合は「外線」ボタンの4～6が外線に接続されていないので、ワンタッチダイヤルボタンの14～16として使用しています。

休日切替の操作が登録してあります。
 (B…「設定」ボタン
 #…ダイヤルボタンのⓂ
 ②…ダイヤルボタンのⓂ)

夜間切替の操作が登録してあります。
 (B…「設定」ボタン
 #…ダイヤルボタンのⓂ
 1…ダイヤルボタンのⓂ)

*** ファンクションコード ***

- B : 設定
- C : アラーム
- D : 一斉
- E : 自己保留
- F : ドアホン
- G : 会議通話
- H : 代理応答
- I : 短縮
- J : キャンプオン
- K : オートリピート
- L : 内線
- M : 外線 5
- N : 外線 6
- O : 外線 3
- P : 外線 4
- Q : ファクス
- R : 外線 1
- S : 外線 2
- T : 取消
- U : リダイヤル
- V : スピーカ
- W : 保留
- X : 受話音量



PART 5

さらに便利な機能



PART 6

アラーム・ドアホン・
構内放送・電卓

指定の時刻に音を鳴らします

アラーム

電話機ごとに指定時刻にアラームを鳴らすことができます。

設定のしかた

(例) 午後の1時30分にアラームが鳴るようにします。



<p>ファンクション</p>	<p>1</p> <p>「ファンクション」ボタンを押して、機能表示ランプを図の位置にもっていきます。</p>	
<p>設定</p>	<p>2</p> <p>「設定」の下の選択ボタンを押します。</p> <p>→ スピーカから「ツー・ツー」音が聞こえます。</p>	
<p>アラーム</p>	<p>3</p> <p>「アラーム」の下の選択ボタンを押します。</p>	
	<p>4</p> <p>ダイヤルボタンで時刻を入力します。</p> <p>(例) 1 3 3 0 時刻は24時間制で入力します。</p>	
<p>設定</p>	<p>5</p> <p>「設定」の下の選択ボタンを押します。</p>	

メモ

- 設定を取消すまでは、毎日指定時刻にアラームが鳴ります。
- アラーム音は15秒鳴ります。途中で止めたいときは、受話器を上げるか任意のボタンを押してください。

取消しのしかた

ファンクション	1	ファンクションボタンを押して、機能表示ランプを図の位置にもっていきます。	電卓 設定 アラーム ー 百
設定	2	<p>「設定」の下の選択ボタンを押します。</p> <p>→ スピーカから「ツー・ツー」音が聞こえます。</p>	設定
アラーム	3	「アラーム」の下の選択ボタンを押します。	時報 1330
取消	4	「取消」ボタンを押します。	時報
設定	5	「設定」の下の選択ボタンを押します。	14 17-22

内容の確認のしかた

- 内容の確認をするときは、取消のしかたの4の操作を省いてください。

ドアホンの相手と通話します

ドアホン

ドアホンからの呼出しに電話機で応答したり、電話機からドアホンを呼出して通話することができます。ドアホンはドアホン1、2の2つを接続できます。

オプション データ設定



応答のしかた

- ドアホンからの着信音「ピンポン・ピンポン」または「ピーン・ポーン」が鳴ったら受話器をとってお話しください。
- ドアホンは10秒間鳴ります。応答するときは、この間に受話器をとってください。
- ドアホンをご利用の際は、各種データ設定が必要です。詳しくは、工事保守店にご相談ください。

メモ

- ドアホン1の着信音は「ピンポン・ピンポン」、ドアホン2の着信音は「ピーン・ポーン」になります。
- 着信音は2秒間鳴ります。また、ドアホン側にも呼出音が鳴ります。
- 単独電話機の場合は、通常の着信音が鳴ります。



ドアホンの鳴っていない電話機での応答

ドアホンが鳴っている電話機以外の電話機でドアホンに応答するときは、つぎのようにします。

	<p>1 受話器をとります。</p>	
	<p>2 「ファンクション」ボタンを押して、機能表示ランプを図の位置にもっていきます。</p>	<p>自己保留 ドアホン 会議通話 代理応答</p>
	<p>3 「ドアホン」の下の選択ボタンを押します。</p>	<p>ドア</p>
	<p>4 ダイヤルボタンの①を押します。</p>	<p>ドア1</p>

呼出しのしかた



	1 受話器をあげます。	内線
	2 ファンクションボタンを押して、機能表示ランプを図の位置にもっていきます。	自己保留 ドアホン 会議通話 代理応答
	3 「ドアホン」の下の選択ボタンを押します。	ドア
	4 ドアホンの番号(1または2)を押します。	ドア 1

メモ

- ドアホンを呼出す前にドアホンと自分の電話機の両方に予告音を鳴らすように設定することができます。また、通話音量を調整することもできます。詳しくは、工事保守店にご相談ください。

センサーと連動して警告音を出します

センサーアラーム

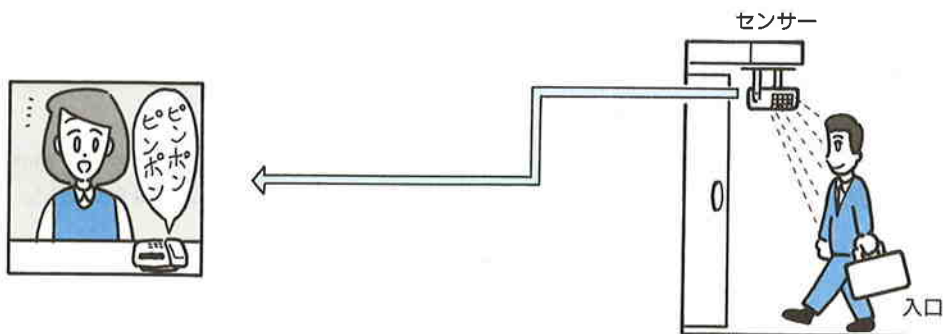
超音波センサー装置などを接続して、来客時に電話機を鳴らすことができます。

オプション データ設定



● センサーアラームをご利用の際は、データ設定が必要です。詳しくは、工事保守店にご相談ください。

- 警告音は使用中でない電話機すべて（単独電話機は除く）に鳴ります。
- 警告音は3分間鳴り続けます。途中で止める場合は、警告音の鳴っている電話機の任意のボタン（未登録のワンタッチダイヤル・電卓ボタンは除く）を押します。



外部スピーカ を使って 放送します

構内放送

外部スピーカ(オプション)を通して放送ができます。

オプション

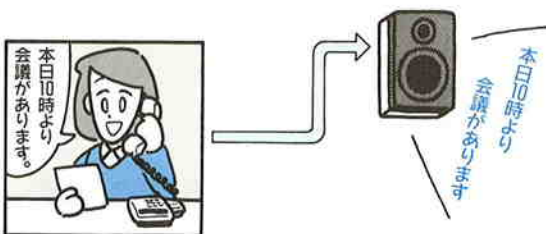
データ設定



	1	受話器をあげます。	内線
	2	ファンクション ボタンを押して、機能表示ランプを図の位置にもっていきます。	自己保留 ドアホン 会議通話 代理応答
	3	ドアホン の下の選択ボタンを押します。	ドア
	4	ダイヤルボタンの③を押します。	放送

メモ

- 構内放送を行うには、各種データ設定が必要です。詳しくは、工事保守店にご相談ください。
- ドアホンを使用中はこの機能は使えません。
- ベル拡声が鳴っているときは、この機能は使えません。




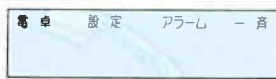


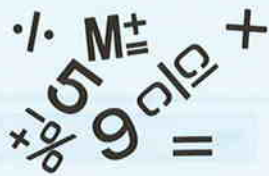


ディスプレイ を使って 計算をします

電卓

10桁の計算ができます。



Eタイプ電話機を除く

 <p>ファンクション</p>	1	ファンクション ボタンを押して、機能表示ランプを窓の位置にもっていきます。	
 <p>電卓</p>	2	電卓 の下の選択ボタンを押します。	
	3	計算ができます。 計算のしかたについてはページをご覧ください。	
 <p>電卓</p>	4	もういちど 電卓 の下の選択ボタンを押すと、電話の状態にもどります。 メモリに記憶された数値は保存されます。	

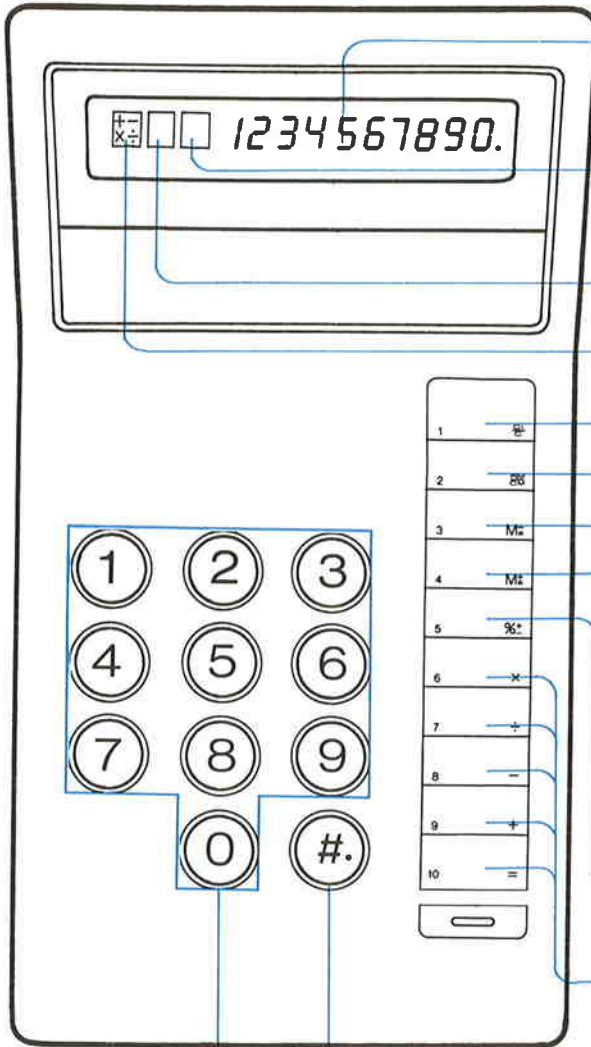
メモ

- 通話の途中で電卓に切替えて計算することもできます。
- 計算の途中でも以下の動作で電話に切替わります。

1. 受話器をあげる。
2. **スピーカ** ボタンを押す。
3. 他の人が使っていない外線ボタンを押す。
4. 5分間何のボタンも押さない。

1~3で電話を切れば、自動的に電卓に切替わります。そのときに演算の状態はもとのままです。

各部の名称とはたらき



- 絶対値表示部
有効数字10桁と小数点を表示します。
- マイナス符号・オーバーフロー表示部
計算が負の値になったときには-が、オーバーフローになったときにはEが表示されます。
- メモリ記憶表示部
メモリ記憶があるときはMが表示されます。
- 電卓モード表示部
 $\frac{\square}{\square}$ を表示します。
- クリアインジケータ・クリアキー
数字キーを押した後に1回押すと、表示されている数字だけを消します。
2回続けて押すと、メモリを除くすべての内容を消します。
- リコールメモリ・クリアメモリキー
1回押すとメモリに記憶されている内容を呼び出し、2回続けて押すと記憶している内容を消します。
- メモリマイナスイコールキー
数字または計算の結果をメモリからマイナスします。
- メモリプラスイコールキー
数字または計算の結果をメモリにプラスします。
- パーセントプラスマイナスキー
パーセント計算や割増し、割引計算のときに使用します。
- 計算命令キー
+はたし算、-はひき算、×はかけ算、÷はわり算のとき押します。
答えを求めるときに=を押しますが、それ以外に定数計算やべき計算にも使用します。
- 小数点キー
小数点が必要なときに使用します。
- 数字キー
計算に必要な数字を押します。

計算のしかた

■加減算(たし算・ひき算)

$8 + 3 + 5.5 = 16.5$

$8 \boxed{+} 3 \boxed{+} 5 \boxed{.} 5 \boxed{=}$

16.5

$4 - 7 - 3 = -6$

$4 \boxed{-} 7 \boxed{-} 3 \boxed{=}$

-6

■乗除算(かけ算・わり算)

$-3.6 \times 1.7 = -6.12$

$\boxed{-} 3 \boxed{.} 6 \boxed{\times} 1 \boxed{.} 7 \boxed{=}$

-6.12

$592 \div 4.8 = 123.3333333$

$592 \boxed{\div} 4 \boxed{.} 8 \boxed{=}$

123.3333333

■四則混合計算(加減乗除算の混じった計算)

$9 \div 5 \times 3.2 + 7 = 12.76$

$9 \boxed{\div} 5 \boxed{\times} 3 \boxed{.} 2 \boxed{+} 7 \boxed{=}$

12.76

$(2 + 4) \div 3 \times 8.1 = 16.2$

$2 \boxed{+} 4 \boxed{\div} 3 \boxed{\times} 8 \boxed{.} 1 \boxed{=}$

16.2

■定数計算(きまった数をかけたり、わったりする計算)

$2 + \underline{3} = 5$

$2 \boxed{+} 3 \boxed{=}$

5

$4 + \underline{3} = 7$

$4 \boxed{+} 3 \boxed{=}$

7

$\underline{2} \times 3 = 6$

$2 \boxed{\times} 3 \boxed{=}$

6

$\underline{2} \times 4 = 8$

$4 \boxed{\times} 2 \boxed{=}$

8

$6 \div \underline{3} = 2$

$6 \boxed{\div} 3 \boxed{=}$

2

$9 \div \underline{3} = 3$



$9 \boxed{\div} 3 \boxed{=}$

3

メモ



○ 定数たし算ではたす数、定数ひき算ではひく数、定数かけ算ではかけられる数、定数わり算ではわる数が自動的に定数となります。

■ 自乗・べき計算

$3^2 = 9$	$3 \times [=]$	
$3^4 = 81$	$3 \times [=] [=] [=]$ (4-1)	


⑨ [=] キーをn-1回押すことによりn乗が得られます。

■ 逆数計算(逆数とは1をある数で割った数です。)


$1/2 = 0.5$	$2 \div [=]$	
$\frac{1}{2 \times 3 + 4} = 0.1$	$2 \times 3 + 4 \div [=]$	

⑨ [=] キーを続けて押すと逆数が得られます。


■ パーセント計算(200円の17%はいくらかを求めるときには次のようにします。)

$200 \times 17\% = 34$	$200 \times 17 [\% \pm]$	
------------------------	--------------------------	--

■ 割増計算 (一定の金額にその何%かの額を加える計算です。
200円の20%増しを求めるときには次のようにします。)

$200 + (200 \times 20\%) = 240$	$200 \times 20 [\% \pm] +$ $200 + 20 [\% \pm] [=]$	
---------------------------------	---	--

■ 割引計算 (一定の金額より何%か安くするときの計算です。
200円を20%割引にするといくらかを求めるときには次のようにします。)

$200 - (200 \times 20\%) = 160$	$200 \times 20 [\% \pm] -$ $200 - 20 [\% \pm] [=]$	
---------------------------------	---	--

■定数パーセント（定数のかけ算のように、かけられる数は一定、
かける数はパーセントを含む計算です。）

$1500 \times 12\% = 180$	$1500 \times 12 \% \pm$	
$1500 \times 15\% = 225$	$15 \% \pm$	
$1500 \times 17\% = 255$	$17 \% \pm$	

■メモリ計算

メモリクリア

$$(35 + 76) + (25 \times 5) + (55 + 16) = 307$$

$$\begin{array}{r} 35 + 76 = 111 \\ 25 \times 5 = 125 \\ +) 55 + 16 = 71 \\ \hline \end{array}$$

小計 307

$$307 - (37 + 75) - 66 = 129$$

$$\begin{array}{r} 37 + 75 = 112 \\ -) \quad \quad \quad 66 \\ \hline \end{array}$$

合計 129

$$35 + 76 = M \pm$$

$$25 \times 5 = M \pm$$

$$55 + 16 = M \pm$$

$$37 + 75 = M \pm$$

$$66 = M \pm$$

メモリクリア

$$100 + 200 + 300 +$$

$$400 + 500 = 1500$$

下線部だけの和を
メモリ内に求めます。

$$100 M \pm + 200 M \pm + 300$$

$$+ 400 M \pm + 500 =$$

10桁を越えた計算について(オーバーフロー)

次のような場合には、オーバーフロー表示Eを表示して計算ができなくなります。
次の計算を始めるには CE キーを押して、Eを消してください。

1. 計算結果の整数部分が10桁を越える場合

計算結果は上から10桁のみを表示し、小数点は、消去された桁数分だけ最上位桁からまわり込んだ位置に表示します。(20桁までは、上位10桁とEを表示してロックします。)

(例) $11111111 \times =$ $\text{ME} \quad E \quad 1234567654$

$$11111111 \times 11111111 = 1234567654321$$

2. メモリ内容の整数部分が10桁を越えた場合

ディスプレイに0が表示されます。

$\text{ME} \quad 0$

オーバーフローする前のメモリの内容は CE キーを押した後に RM キーを押すことにより、呼びもどすことができます。

3. わる数が0のわり算をしたとき

ディスプレイに0が表示されます。

(例) $200 \div 0 =$

$\text{ME} \quad E \quad 0$



PART

7

料金計算と料金表示

本機の通話料金計算と表示は、NTTで集計した料金の内容と同一とは限りません。集計結果に差異が生じたとしても、公式データとしてNTTに提出・申し立てはできません。

通話中の 時間と料金を 表示します。

通話料金表示

外線に電話をかけたときに通話時間と料金が表示されます。

データ設定



料金	5分	20円	外線通話時
会議	5分	20円	会議通話時

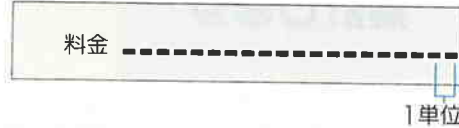
メモ

- 通話料金を表示させるには、各種データ設定が必要になります。詳しくは、工事保守店にご相談ください。
- 通話を保留しているとき、料金表示はされませんが、料金はカウントされます。保留を解除し、通話を始めると再び料金表示されます。
- 自分から外線に電話をかけ、それを他の内線に転送した場合でも、通話料金は自分の電話機でカウントされます。
- 会議通話で、他の二者に自分から電話をかけた場合の電話料金は両通話の合計が表示されます。
- 外線がPBXやNCCアダプタに接続されているときは、ダイヤルしてから10秒後に料金計算を開始します。

使用料金の累計を メータ表示します

料金メータ表示

料金単位を設定して、電話機ごとに使用料金をメータ表示します。



データ設定



(例) 料金単位を500円から1000円に切替えるとき。

	1	<p>ファンクション ボタンを押して、機能表示ランプを図の位置にもっていきます。</p>	
	2	<p>設定 の下の選択ボタンを押します。</p> <p>→ スピーカから「ツー・ツー」音が聞こえます。</p>	
	3	<p>ダイヤルボタンの⑨を押します。</p> <p>→ 現在の料金が表示されます。</p>	
	4	<p>もう一度ダイヤルボタンの⑨を押します。</p> <p>→ 現在の料金単位 (1単位500円) が表示されます。</p>	 表示は10円単位になります。
	5	<p>ダイヤルボタンを押して新たに料金単位 (1単位1000円) を入力します。</p> <p>→ 表示は5秒間で消えます。</p>	

メモ

- 通話料金表示をさせるためには、各種のデータ設定が必要になります。詳しくは、工事保守店へご相談ください。
- メータ表示は、設定した料金を1単位として10単位まで表示されます。
- メータ表示は、登録や設定の操作中を除いて常時表示されます。ただし、5の操作で0000を入力した場合は、料金はメータ表示されません。
- 国際電話の使用料金は表示できません。


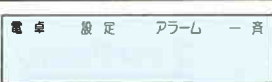






使用料金を 集計します


料金集計表示

通話料金を電話機ごと、外線ごと、テナントごとに表示できます。また、トータルの通話料金を表示することもできます。

電話機ごとの集計のしかた



 <p>ファンクション</p>	<p>1</p> <p>ファンクション ボタンを押して、機能表示ランプを図の位置にもっていきます。</p>	
 <p>設定</p>	<p>2</p> <p>設定 の下の選択ボタンを押します。</p> <p>④スピーカーから「ツー・ツー」音が聞こえます。</p>	
 <p>3</p>	<p>3</p> <p>ダイヤルボタンの③を押します。</p> <p>④ 端子番号00の電話機の料金が表示されます。</p>	
 <p>① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ * 0</p>	<p>4</p> <p>調べたい電話機の端子番号をダイヤルボタンで押します。</p> <p>④ 集計料金が表示されます。</p>	




	5	設定 の下の選択ボタンを 押します。	14 17-22
---	---	------------------------------	----------

メモ

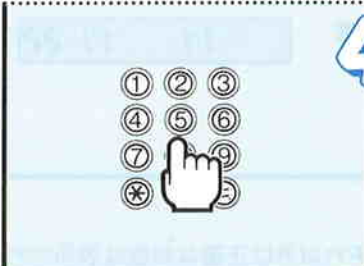

- 料金計算に関する各種データを設定した場合にのみ有効です。それ以外は正確な料金は表示されません。
- 料金を調べたい電話機の端子番号がわからないときは、「内線番号表示」(→P. 77)で端子番号を確認してください。

外線ごとの集計のしかた



	1	ファンクション ボタンを押して、機能表示ランプを図の位置にもっていきます。	電卓 設定 アラーム 音
	2	設定 の下の選択ボタンを押します。 → スピーカから「ツー・ツー」音が聞こえます。	設定
	3	ダイヤルボタンの④を押します。 → 外線1の集計料金が表示されます。	外線 1 1500 円

操作は次ページに続きます。

	<p>4</p> <p>調べたい外線ボタンの番号をダイヤルボタンで押します。</p> <p>➔ 集計料金が表示されます。</p>	<table border="1"><tr><td>外線</td><td>2</td><td>2500</td><td>円</td></tr></table>	外線	2	2500	円
外線	2	2500	円			
<p>設定</p> 	<p>5</p> <p>設定 の下の選択ボタンを押します。</p>	<table border="1"><tr><td>14</td><td>17-22</td></tr></table>	14	17-22		
14	17-22					

テナントごとの集計のしかた



<p>ファンクション</p>	<p>1</p> <p>「ファンクション」ボタンを押して、機能表示ランプを図の位置へもっていきます。</p>	
<p>設定</p>	<p>2</p> <p>「設定」の下の選択ボタンを押します。</p> <p>→ スピーカから「ツー・ツー」音が聞こえます。</p>	
<p>7</p>	<p>3</p> <p>ダイヤルボタンの⑦を押します。</p> <p>→ テナント1の料金集計が表示されます。</p>	
<p>① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ * 0</p>	<p>4</p> <p>調べたいテナントの番号をダイヤルボタンで押します。</p> <p>→ 集計料金が表示されます。</p>	
<p>設定</p>	<p>5</p> <p>「設定」の下の選択ボタンを押します。</p>	

PART 7

料金計算と料金表示

全通話料金の集計のしかた




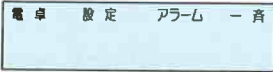




	<p>1</p> <p>ファンクション ボタンを押して、機能表示ランプを図の位置へもっていきます。</p>	
	<p>2</p> <p>設定 の下の選択ボタンを押します。</p> <p>➡ スピーカから「ツー・ツー」音が聞こえます。</p>	
	<p>3</p> <p>ダイヤルボタンの◎を押します。</p> <p>➡ 全通話料金が表示されま</p> <p>ず。</p>	
	<p>4</p> <p>設定 の下の選択ボタンを押します。</p>	

集計の消去のしかた

- 集計した通話料金をメモリから消去するときは、「全通話料金の集計のしかた」の操作**3**の次に **取消** ボタンを押します。

各電話機での集計のしかた

各電話機でも自分の電話機の通話料金
ならば集計できます。

<p>1</p> <p>ファンクション</p> 	<p>ファンクション ボタンを押して機能表示ランプを図の位置にもっていきます。</p>	
<p>2</p> <p>設定</p> 	<p>設定 の下の選択ボタンを押します。</p> <p>➔ スピーカから「ツー・ツー」音が聞こえます。</p>	
<p>3</p> 	<p>ダイヤルボタンの9を押します。</p> <p>➔ 表示は5秒間で消えます。</p>	

PART
7

料金計算と料金表示

使用料金をFAXに 出力します

料金集計出力

通話料金の集計結果をFAXに出力します。

オプション



<p>ファンクション</p>	<p>1</p> <p>ファンクション ボタンを押して、機能表示ランプを窓の位置にもっていきます。</p>	
<p>設定</p>	<p>2</p> <p>設定 の下の選択ボタンを押します。</p> <p>→ スピーカから「ツー・ツー」音が聞こえます。</p>	
<p>ファクス</p>	<p>3</p> <p>ファクス ボタンを押します。</p>	
	<p>4</p> <p>ダイヤルボタンの0または1を押します。</p> <p>→ 出力後、集計した内容を消去したい場合は、ダイヤルボタンの1を押してください。</p>	

メモ

- 出力するFAXが使用中のときは、一定時間（1分間）出力するのを待ちますが、1分を過ぎてもまだ使用中のときは出力されません。
- 転送電話（外線・外線転送1）の場合、転送電話を受けた外線と転送先へ発信するときに使用した外線が同じテナント（→P. 72）のときは、通話料金は発信に用いた外線の項目に集計されます。
- 転送電話をしている場合は、各電話機の合計金額（内線の小計）と各外線の合計金額（小計）に差が生じることがあります。
- 出力先FAXがEタイプ電話機に接続されている場合は、Eタイプ電話機の **ファクス** ボタンを押して自動受信モードにして下さい。

***** 通話料金集計 *****

89/12/10 --> 89/12/10

テナント 1

内線 10 4,050 円

小計 4,050 円

外線 1 4,050 円

小計 4,050 円

テナント 2

内線 12 2,700 円

小計 2,700 円

外線 2 2,700 円

小計 2,700 円

テナント 3

内線 13 2,520 円

14 2,430 円

小計 4,950 円

外線 3 3,240 円

4 1,710 円

小計 4,950 円

合計

内線 11,700 円

外線 11,700 円

PART 7

料金計算と料金表示

通話明細をFAXに 出力します

通話明細出力

外線通話の明細をFAXに出力します。明細は必要に応じて手動で出力することも指定した通話数の通話が終了した時点で自動的に出力させることもできます。

オプション データ設定



<p>ファンクション</p>	1	<p>ファンクション ボタンを押して、機能表示ランプを図の位置にもっていきます。</p>	<p>電卓 設定 アラーム 1 - 10</p>
<p>設定</p>	2	<p>設定 の下の選択ボタンを押します。</p> <p>→ スピーカから「ツー・ツー」音が聞こえます。</p>	<p>設定</p>
<p>ファクス</p>	3	<p>ファクス ボタンを押します。</p>	<p>料金</p>
<p>2</p>	4	<p>ダイヤルボタンの②を押します。</p>	<p>28 15-18</p>

メモ

- この機能を使用するには、各種データ設定が必要です。詳しくは、工事保守店へご相談ください。
- 設定した数（最大199）の通話が終了した時点で、自動的に明細を出力することができます。この通話数の設定については、135ページをご覧ください。
- 通話明細の内容は出力されると自動的に消去されます。
- 出力するFAXが使用中のときは、一定時間（1分間）出力するのを待ちますが、1分を過ぎてもまだ使用中のときは出力されません。
- 本機は254通話まで記憶することができますが、254通話に達し、さらに1通話が行われたときは、最も古い通話がメモリから自動的に消去されます。
- プライバシーを守るため、発信先の電話番号の下1桁から指定した桁数（1～4）を、*で出力することができます。この桁数の設定については、136ページをご覧ください。
- NTTの通話料金明細内訳サービスの金額とは、必ずしも一致しません。
- 出力先FAXがEタイプ電話機に接続されている場合は、Eタイプ電話機の**ファクス** ボタンを押して自動受信モードにしてください。
- 1通話の通話時間が4時間を超えたときは、通話料金を正確に表示・出力することができないことがあります。

***** 通話明細 *****

89/11/09-15:09 --> 89/11/10-15:31

日時	内線	計外	電話番号	通話時間	通話料金	種別
09-15:09	1 2	2	758****	4 分	20 円	
09-15:15	1 0	1	045591****	4 分	30 円	
09-15:21	1 3	3	497****	2 分	10 円	
09-15:26	1 4	1	06444****	3 分	203 円	N C C
09-15:30	1 3	3	047261****	4 分	50 円	
09-15:45	1 4	1	045312****	2 分	20 円	
09-15:52	1 0	1	496****	1 分	10 円	
09-15:53	転送	1	496****	5 分	20 円	
09-15:58	1 3	3	0011406588****	4 分	-----	
09-16:05	1 2	2	455****	5 分	20 円	
09-16:26	1 4	1	**	1 分	-----	
10-08:39	1 0	1	611****	1 分	10 円	
10-08:59	1 0	1	0444****	1 分	10 円	
10-09:00	1 0	1	0444****	1 分	10 円	
10-10:41	1 0	1	**	1 分	-----	
10-10:51	1 0	1	611****	1 分	10 円	
10-11:07	1 0	1	**	1 分	-----	
10-11:11	1 0	1	**	1 分	-----	
10-14:32	1 4	1	0011603588****	5 分	-----	
10-14:56	1 0	1	045591****	1 分	10 円	
10-15:02	1 3	3	496****	4 分	20 円	
10-15:11	1 2	2	403****	5 分	20 円	
10-15:19	1 3	3	06444****	4 分	301 円	N C C
10-15:31	1 4	1	455****	3 分	10 円	

外線・外線転送1
のときは、「転送」と
出力されます。

出力する*の数は
設定できます
(→P. 136)。











国際通話、内線通話
のときは、-----が
出力されます。

PART
7

料金計算と料金表示



自動出力数の設定のしかた (例) 通話明細自動出力数を100から50に切替えるとき。











 <p>ファンクション</p>	<p>1</p> <p>ファンクション ボタンを押して、機能表示ランプを図の位置にもっていきます。</p>	
 <p>設定</p>	<p>2</p> <p>設定 の下の選択ボタンを押します。</p> <p>➡ スピーカから「ツー・ツー」音が聞こえます。</p>	
 <p>ファクス</p>	<p>3</p> <p>ファクス ボタンを押します。</p>	
	<p>4</p> <p>ダイヤルボタンの③を押します。</p> <p>➡ 現在の自動出力数が表示されます。</p>	
	<p>5</p> <p>ダイヤルボタンを押して自動出力数を3桁で入力します。</p> <p>➡ 表示は5秒間で消えます。</p>	

メモ

○ 通話明細の自動出力をしたくないときは、上記の設定で通話数を000に設定します。



マスク桁数の設定のしかた (例) 通話明細ダイヤルマスク桁数を2桁から4桁に切替えるとき。

<p>1</p> <p>ファンクション</p> 	<p>ファンクション ボタンを押して、機能表示ランプを図の位置にもっていきます。</p>	
<p>2</p> <p>設定</p> 	<p>設定 の下の選択ボタンを押します。</p> <p>→ スピーカから「ツー・ツー」音が聞こえます。</p>	
<p>3</p> <p>ファクス</p> 	<p>ファクス ボタンを押します。</p>	
<p>4</p> 	<p>ダイヤルボタンの④を押します。</p> <p>→ 現在の桁数が表示されます。</p>	
<p>5</p> 	<p>ダイヤルボタンを押して新たに桁数を入力します。</p> <p>→ 表示は5秒間で消えます。</p>	

PART 7

料金計算と料金表示

メモ

○ 5の操作で0を入力すると、ダイヤルマスク(*)は出力されません。



送受信のしくみ
送受信のしくみ

1
2
3
4
5
6
7
8
9

PART 8




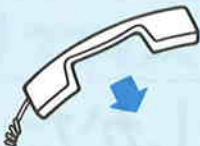
FAXの送受信のしかた (Eタイプ電話機)

通話後FAXを呼出して自動受信を行います

自動受信 1

外線と通話中の電話を **ファクス** ボタンと*キーを押してFAXを呼出すことにより、FAXの自動受信を行います。この自動受信を行うには、あらかじめFAX側を自動受信になるようにセットしておく必要があります。(セットのしかたについては、FAXの使用説明書をご覧ください。)



	<p>1</p> <p>着信音が鳴ったらEタイプ電話機の受話器をとって電話に出ます。 もしくは相手に電話をかけて通話状態にします。</p> <p>➡ 相手がFAXを自動送信してきたときは、「ピー」という音が聞こえます。また相手が手動送信しようとしたときは、通話後、受話器を持ったまま以下の操作を進めます。</p>	<p>外線</p> <p>または</p> <p>外線 7582111</p>
	<p>2</p> <p>ファクス ボタンを押します。</p> <p>➡ ファクスランプが赤色の速い点滅になります。</p>	<p>FAX 切替</p>
	<p>3</p> <p>*ボタンを押してFAXを呼出します。呼出し後、FAXが自動応答し、受信がスタートします。</p> <p>➡ ファクスランプが通常の点滅に変わります。</p> <p>➡ FAXに接続されると表示は右のように変わります。</p>	<p>FAX 呼出</p> <p>↓</p> <p>FAX 接続</p>
	<p>4</p> <p>受話器をもどします。</p> <p>➡ 受信が終了するとファクシミリランプが消え、通話前の表示にもどります。</p>	<p>FAX 接続</p> <p>↓</p> <p>14 17-22</p>

メモ

- 3の操作で1分以内にFAXと接続することができない場合は、通話状態にもどります。
- お使いのFAXに電話機が付いている場合、3の操作で*を押す以前にFAX付属電話器が上げられている場合は、通常の手動受信の操作(→P. 141)を行ってください。
- ファクスランプ点滅中は、スピーカから話中呼出、話中着信、長時間通話情報などの呼出音、警告音は鳴りません。



FAXを常に自動受信するようにセットします

自動受信2

外出等で不在のときに、外線からかかってきた電話を受信操作することなしにFAXの自動受信を行うことができます。この自動受信を行うには、あらかじめFAX側を自動受信になるようにセットしておく必要があります。(セットのしかたについては、FAXの操作説明書をご覧ください。)

自動受信モードのセットのしかた



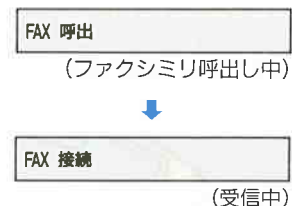
 1	Eタイプ電話機の受話器が置いた状態になっていることを確認します。	14 17-22
 2	ファクス ボタンを押します。FAXの自動受信モードにセットされました。 ④ ファクスランプが赤色に点灯します。	14 17-22

自動受信モードの解除のしかた

- 自動受信モードを解除するときは、セットしたときの操作と同じ操作を行いません。ファクスランプが消灯します。

メモ

- Eタイプ電話機を使用中のときは、自動受信モードの設定を変えることはできません。
- 自動受信モード設定中に電話がかかるとファクスランプが赤色の点滅になり、表示が下記ようになります。



- Eタイプ電話機からFAXを呼出してから1分以内にFAXが応答しない場合は、ディスプレイが受信前の表示にもどります。このとき、Eタイプ電話機の受話器を取って電話に出ることができます。
- 自動受信モードにセットされていてもEタイプ電話機やFAXに付属している電話機から電話をかけることができます。


通話後FAXの手動受信を行います

手動受信

外線と通話状態の電話をEタイプ電話機に接続したFAXに転送して手動受信を行います。



	<p>1</p> <p>着信音が鳴ったらEタイプ電話機の受話器をとって電話に出ます。</p> <p>もしくは相手に電話をかけて通話状態にします。</p> <p>➡ 相手がFAXを自動送信してきたときは、「ピー」という音が聞こえます。また相手が手動送信をしようとしたときは、通話後、受話器を持ったまま以下の操作を進めます。</p>	<p>外線</p> <p>または</p> <p>外線 7582111</p>
<p>ファクス</p> 	<p>2</p> <p>ファクス ボタンを押します。</p> <p>➡ 電話がFAXに接続されるまでファクスランプが赤色の速い点滅になります。</p>	<p>FAX 切替</p> <p>電話をかけたときは、「FAX切替」などの表示の次に相手の電話番号または通話料金が表示されます。</p>
	<p>3</p> <p>Eタイプ電話機の受話器をもどします。</p>	<p>FAX 切替</p>
	<p>4</p> <p>FAXに付属している電話機の受話器を上げます。 (FAXに電話機が付いていない場合は、この操作をとばします。)</p> <p>➡ 電話がFAXに接続されるとファクスランプが通常の点滅に変わります。</p>	<p>FAX 接続</p>
<p>スタート</p> 	<p>5</p> <p>FAXの スタート ボタンを押します。受信がスタートします</p>	<p>FAX 接続</p>



**FAXに付属している電話機
の受話器をもどします。**
(FAXに電話機が付いてい
ない場合は、この操作をとば
します。)

➡ 受信が終了するとファク
シミリランプが消え、通
話前の表示にもどります。

FAX 接続

↓

14 17-22

メモ

- お使いのFAXに電話機が付いている場合、1の操作の代わりにFAX付属電話機から電話をかけて通話状態にして、FAXを受信することもできます。
- ファクスランプ点滅中は、スピーカから話中呼出、話中着信、長時間通話警報などの呼出音、警告音は鳴りません。

FAXを操作して 送信を行います

自動送信

FAXを操作して通常のFAXの自動送信をすることもできます。
この操作は、FAXの送信操作手順に従って行ってください。



- お使いのFAXがキャノファクスの場合、基本的な送信操作の流れは下記のようになりますが、機種によって異なることもありますので、詳しくはFAXの使用説明書をご覧ください。
 1. 原稿をセットする。
 2. ワンタッチダイヤル、短縮ダイヤル、またはテンキーを使って相手の電話番号をダイヤルする。
 3. **スタート** ボタンを押す。(テンキー入力時のみ)

メモ

- FAX送信中は、ファクスランプが赤色の点滅になり、Eタイプ電話機の表示が次のようになります。

FAX 接続 7582111

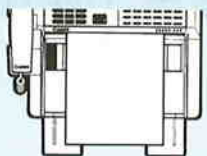


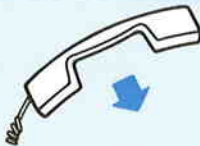
- 受話器を上げたときに外線に直接つながるように設定されている場合は、外線発信番号(0)をFAXに登録する必要はありません。
- 受話器を上げたときに内線に直接つながるように設定されている場合は、外線発信番号(0)をFAXに登録する必要があります。

通話後FAXの 手動送信を行います

手動送信

Eタイプ電話機を使ってFAXから原稿を送信します。



	<p>1</p> <p>原稿をFAXにセットします。</p> <p>④ 原稿のセットのしかたについては、FAXの操作説明書をご覧ください。</p>
	<p>2</p> <p>相手へ電話をかけます。 または相手先から電話がかかったときはEタイプ電話機の受話器をとって電話に出ます。</p> <p>④ 相手がFAXを自動受信にセットしているときは、「ピー」という音が聞こえます。そのまま次の操作へ進んでください。また相手が手動受信にセットしているときは、相手にFAXの「スタート」ボタンを押してもらい、「ピー」という音が聞こえてから次の操作へ進んでください。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;">外線 7582111</div> <p style="text-align: center;">または</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;">外線</div>
<p>ファクス</p> 	<p>3</p> <p>ファクス ボタンを押します。</p> <p>④ 電話がFAXに接続されるまでファクスランプが赤色の速い点滅になります。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;">FAX 切替 7582111</div> <p>着信時は電話番号は表示されません。また電話番号の代わりに通話料金が表示されることもあります。</p>
	<p>4</p> <p>Eタイプ電話機の受話器をもちます。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;">FAX 切替 7582111</div>

操作は次のページに続きます。

PART 8

(Eタイプ電話機)
ファクシミリ送受信のしかた

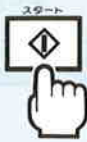


5

FAXに付属している電話機
の受話器を上げます。
(FAXに電話機が付いてい
ない場合は、この操作をとば
します。)

FAX 接続 7582111

➡ 電話がFAXに接続され、
ファクスランプが赤色に
点滅します。



6

FAXの **スタート** ボタン
を押します。送信がスタート
します。

FAX 接続 7582111



7

FAXに付属している電話機
の受話器をもどします。
(FAXに電話機が付いてい
ない場合は、この操作をとば
します。)

FAX 接続 7582111



14 17-22

➡ 送信が終了するとファク
シミリランプが消え、通
話前の表示にもどします。

メモ

- お使いのFAXに電話機が付いている場合、2の操作の代わりにFAX付属電話機から電話をかけて、FAXを送信することもできます。その場合は、操作の6へ進んでください。
- 通話中誤って **ファクス** ボタンを押して通話がとぎれてしまったときは、もう一度 **ファクス** ボタンを押して通話を再開します。
- ファクスランプ点滅中は、スピーカから話中呼出、話中着信、長時間通話警報などの呼出音、警告音は鳴りません。



あまのすけの安全情報

9

PART

その他

日時を合わせます

日時合わせ

正しい年月日、時刻を入力して時計を合わせます。

(例) 1989年7月14日午後3時50分にするとき



<p>ファンクション</p>	<p>1</p> <p>ファンクション ボタンを押して、機能表示ランプを図の位置にもっていきます。</p>	
<p>設定</p>	<p>2</p> <p>設定 の下の選択ボタンを押します。</p> <p>→ スピーカから「ツー・ツー」音が聞こえます。</p>	
<p>#</p>	<p>3</p> <p>ダイヤルボタンの#を2回押します。</p> <p>→ 現在の日時が表示されます。</p>	
<p>① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ * 0</p>	<p>4</p> <p>ダイヤルボタンを押して新たに日時を入力します。</p>	
<p>設定</p>	<p>5</p> <p>設定 の下の選択ボタンを押します。</p>	

メモ

○ 時間は24時間制で入力します。

ディスプレイ表示 リスト

外線発信 (→P. 21)	外線 7582111	電話番号をダイヤルしたとき
	NCC 064445821	NCC回線を使用してダイヤルしたとき
外線応答1 (→P. 34)	外線	外線からかかってきたとき
ワンタッチダイヤル登録 (→P. 24)	設定	設定 ボタンを押したとき
	09	ワンタッチダイヤルボタンを押したとき
	09 7582111	電話番号を入力したとき
短縮ダイヤル発信 (→P. 26)	短82 7582111	発信したとき
短縮ダイヤル登録 (→P. 27)	設定	設定 ボタンを押したとき
	短縮 82 ↓	短縮番号を入力したとき
	短82	
	短82 7582111	電話番号を入力したとき
メモダイヤル (→P. 30)	メモ	通話中にリダイヤルボタンを押したとき
	メモ 7582111	電話番号を入力したとき

外線予約 (→P. 31)	使用中	全外線使用中に外線発信したとき
	予約中 16-48	【キャンプオン】 ボタンを押したとき
	予約中 16-50	受話器をもどして空き外線を待っているとき
	発信可	外線が空いたとき
	外線	受話器をとったとき
オートリピートダイヤル (→P. 32)	外線 7582111	外線にかけたとき
	再送待 7582111	【オートリピート】 ボタンを押したとき
	再送待 17-22	受話器をもどしたとき(待機中)
	再送 7582111	再ダイヤルしているとき
	外線 7582111	相手が出たとき(通話中)
メッセージ録音 (→P. 36)	設定	【設定】 ボタンを押したとき
	録音	ダイヤルボタンの⑤を押したとき
	録音中 3 16	メッセージを録音しているとき
	メッセージ番号	残り時間(秒)

	設定	設定 ボタンを押したとき
メッセージ再生 (→P. 38)	再生	ダイヤルボタンの◎を押したとき
	再生中 3	メッセージ番号を入力したとき
内線発信 (→P. 51)	内線	受話器をとったとき
	呼出中 18	内線番号をダイヤルしたとき
	内線 18	相手が出たとき (通話中)
	通話中 18	相手が話し中のとき
	誤り 35	誤ってダイヤルしたとき
内線応答 (→P. 60)	内線 18	内線からかかってきたとき
	内線 18	電話に出たとき (通話中)
音声呼出 (→P. 53)	呼出中 18	内線番号をダイヤルしたとき
	音声 18	ダイヤルボタンの①を押したとき
	内線 18	相手が出たとき (通話中)

メッセージ番号 残り時間

		ボタンを押したとき
内線一斉呼出 (→P. 54)		呼出を受けた側
		相手が出たとき
メッセージウェイト (→P. 56)		相手を呼出しているとき
		ダイヤルボタンの②を押したとき
		呼出を受けた側 (15からの呼出)
話中呼出 (→P. 57)		相手が話し中のとき
		ダイヤルボタンの③を押したとき
		呼出を受けた側 (12と通話中に15から呼出)
		呼出を受けた側 (フッキングして15と通話中)
内線予約 (→P. 58)		相手が話し中のとき
		ボタンを押したとき
		受話器をもどしたとき
		相手が通話を終了したとき
		受話器をとったとき

会議通話 (→P. 67)	会議 13 14	内線3者間通話のとき (他の2者の番号を表示)
	会議	外線を含む3者間通話のとき
不在設定 (→P. 68)	設定	設定 ボタンを押したとき
	不在 {	⊕ ボタンを押したとき
	不在 17-22	設定 ボタンを押したとき
	不在 15	不在設定してある電話機を呼出したとき
不在転送 (→P. 70)	設定	設定 ボタンを押したとき
	不在 15	転送先内線番号を入力したとき
	不在 17-22	設定 ボタンを押したとき
システム間接続 (→P. 73)	通信中 24 ↓	アクセス番号をダイヤルしたとき
	通信中	
	通信中 18	内線番号をダイヤルしたとき
	通信中 07582111	電話番号をダイヤルしたとき

<p>内線番号表示 (→P. 77)</p>	<div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-right: 10px;">番号 03 21</div> <p>ダイヤルボタンのⓂを押したとき</p> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 5px;"> <div style="text-align: center;">┆ 端子番号</div> <div style="text-align: center;">┆ 内線番号</div> </div>
<p>ダイヤラー発信 (→P. 79)</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">PB 7582111</div> <p>電話番号を入力したとき</p>
<p>サービスクラス (→P. 81)</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">規制 045</div> <p>発信可能区域以外の市外電話へかけたとき</p>
<p>保留警報 (→P. 92)</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">保留中</div> <p>警告音が鳴ったとき</p>
<p>着信モード切替 (→P. 101)</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">設定</div> <div style="margin-left: 20px;">設定 ボタンを押したとき</div>
	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">モード 0</div> <p>外線ボタンを押したとき</p>
<p>夜間/休日切替 (→P. 102)</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">夜間 28 18-05</div> <p>夜間着信モードのとき</p>
	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">休日 28 18-05</div> <p>休日着信モードのとき</p>
<p>アラーム (→P. 109)</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">設定</div> <div style="margin-left: 20px;">設定 ボタンを押したとき</div>
	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">時報 1330</div> <p>時刻を入力したとき</p>
	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">時報 13-30</div> <p>アラームが鳴ったとき</p>
<p>ドアホン着信 (→P. 111)</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">ドア1</div> <p>ドアホンが着信中のとき (通話中のとき)</p>
<p>ドアホン呼出 (→P. 112)</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">ドア</div> <div style="margin-left: 20px;">ドアホン ボタンを押したとき</div>
	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">ドア 1</div> <p>ドアホンの番号を押したとき (呼出中)</p>
<p>センサーアラーム (→P. 113)</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">警報</div> <p>警報が鳴っているとき</p>

構内放送 (→P.114)	ドア	ドアホン	ボタンを押したとき
	放送		ダイヤルボタンの③を押したとき
通話料金表示 (→P.123)	料金 5分 20円		外線通話をしたとき
	会議 5分 20円		会議通話をしたとき
	NCC 3分 370円		NCC回線を使用したとき
料金集計表示 (→P.125)	内線 00 1200円		ダイヤルボタンの③を押したとき (内線集計)
	外線 1 1500円		ダイヤルボタンの④を押したとき (外線集計)
	料金 1 4500円		ダイヤルボタンの⑦を押したとき (テナント集計)
	料金 9500円		ダイヤルボタンの⑩を押したとき (総計)
	料金 2500円		ダイヤルボタンの⑨を押したとき (各電話機別集計)
料金集計出力 (→P.131)	設定	設定	ボタンを押したとき
	料金	ファクス	ボタンを押したとき
通話明細自動出力数 (→P.135)	通話N 100		ダイヤルボタンの③を押したとき

	FAX 切替	ファクス ボタンを押したとき
FAX自動受信 (→ P. 139)	FAX 呼出	Ⓜボタンを押したとき
	FAX 接続	FAXに接続されたとき (受信中)
FAX手動受信 (→ P. 141)	FAX 切替	ファクス ボタンを押したとき
	FAX 接続	FAXに付属している電話機の受話器をとったとき
FAX自動送信 (→ P. 143)	FAX 接続 7582111	FAX送信中のとき
FAX手動送信 (→ P. 144)	FAX 接続 7582111	FAXに付属している電話機の受話器をとったとき
日時合わせ (→ P. 147)	日時 8906.111320	Ⓜボタンを2回押したとき

停電のとき

- 停電時には、停電用に指定(設置時に指定)されている電話機でのみ外線の発信と着信ができます。その際、ダイヤルボタン以外の機能ボタンは使えません。
停電用に指定できる電話機は単独電話機とDタイプ電話機のみです。
- Dタイプ電話機(停電機)のディスプレイには何も表示されません。
- 通話中に停電になった場合および停電が復旧した場合には通話は切れます。
- 停電が1分以上続いた場合、留守応答のメッセージは消去されます。
- Dタイプ電話機は、下記のようにあらかじめダイヤルモードを切替えておく必要があります。
- Eタイプ電話機のファクシミリ自動受信モードの設定は、停電の直前の状態にもどります。

Dタイプ電話機が接続されている回線をダイヤルホンで契約しているとき

- ダイヤルモード切替スイッチを"10"PPSか"20"PPSにセットします。20PPSは10PPSよりダイヤルのスピードが速く便利ですが、使用できない地域がありますのでご注意ください。(出荷時は20PPSにセットしてあります)

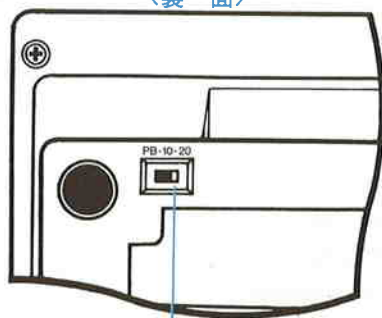
Dタイプ電話機が接続されている回線をプッシュホンで契約しているとき

- ダイヤルモード切替スイッチを"PB"にセットします。

オプションのバッテリーを接続することによって、停電時そのまま本機を使用することができます。使用できる時間は、内部バッテリーで約10分、外部バッテリーで約1時間です。

- バッテリーは約2年に1度交換しないと十分な能力を発揮することができません。詳しくは、工事保守店にご相談ください。

〈裏面〉



ダイヤルモード切替スイッチ

故障かなと 思うまえに

下記のことを確認して販売店にご相談ください。

1. 主装置の電源プラグがコンセントから抜けていませんか？
2. 電話機のコードが抜けていませんか？
3. ローゼットから接続コードが抜けていませんか？
4. 操作は正しく行なわれましたか？

PART
9

その他

さくいん

【ア】

アクセス番号	73
アラーム	109
Eタイプ電話機	7,8
Aタイプ電話機	7,8
NCC回線	22
オートリピートダイヤル	32
音声メッセージ録音	36
音声呼出	53

【カ】

会議通話	67
外線	
外線応答1	34
外線応答2	34
外線・外線転送1	42
外線・外線転送2	44
外線自己保留	40
外線システム保留	39
外線・内線転送1	45
外線・内線転送2	47
外線発信1	21
外線発信2	22
外線別着信音	91
外線ボタン	18
外線予約	31
外線ランプ	18
外部バッテリー	156
外部保留音	94
漢字ディスプレイ	18
キーイントーン	78
機能表示パネル	18
機能表示ランプ	18
キャンブオン	
外線予約	31
内線予約	58
休日切替	102
構内放送	114

【サ】

サービスクラス	81
システム間接続	73
システム短縮ダイヤル	26
Cタイプ電話機	7,8
自動受信1	139
自動受信2	140
自動送信	143
集中着信	84
主装置	14
手動受信	141
手動送信	144
受話音量調整ボタン	16
受話器	16
数字ディスプレイ	18
スピーカ	16
スピーカ音量調整ボリューム	16
スピーカボタン	16
スピーカランプ	16
センサーアラーム	113

【タ】

ダイヤラー発信	79
ダイヤルイン	87
ダイヤルボタン	16
ダイヤルマスク	136
ダイヤルモード	156
ダイレクト・イン・ライン(DIL着信)	88
短縮ダイヤル	26
単独電話機	7,8
端末設備接続(変更)請求書	11
端子番号	77
着信音量調整ボリューム	16
着信鳴動指定	90
着信モード切替	101
着信モード切替時刻	103
長時間通話警報	91
通話明細出力	133
通話料金表示	123

□タイプ電話機	7,8
ディスプレイ表示濃度調整器	16
ディスプレイ表示リスト	148
停電のとき	156
テナント	72
電源スイッチ	14
電源ランプ	14
電卓	115
転送	41
転送電話	42
電話機別短縮ダイヤル	26
ドアホン	111
トーン信号	78
取消ボタン	16

【ナ】
内線

内線一斉呼出	54
内線応答	60
内線・外線転送	65
内線システム保留	61
内線代表	55
内線代理応答	60
内線・内線転送1	62
内線・内線転送2	64
内線発信	51
内線番号表示	77
内線予約	58

日時合わせ	147
内部バッテリー	156

【ハ】

発信規制	82
パルス回線	78
ハンズフリー機	7,95
ハンズフリー通話	95
□タイプ電話機	7,8
PB信号送出	78
FAX	7
FAXスライド着信	86
FAX転送	48
ファクスボタン	18

FAX無鳴動着信	100
ファクスランプ	18
ファンクションボタン	18
不在設定	68
不在転送	70
フッキング	44
フックボタン	16
フレキシブルアサイン	97
ベル拡声	92
保留警報	92
保留ボタン	16
保留メロディ選択	93
保留ランプ	16

【マ】

マスター電話機	7,8
メッセージウェイト	56
メモダイヤル	30

【ヤ】

夜間／休日切替	102
---------	-----

【ラ】

リダイヤル	29
リダイヤルボタン	16
料金計算・表示	122
料金集計出力	131
料金集計表示	125
料金単位	124
料金メータ	18
料金メータ表示	124
留守応答	35

【ワ】

話中着信	83
話中呼出	57
ワンタッチダイヤル	23
ワンタッチダイヤルボタン	16
ワンタッチ／短縮ダイヤル出力	104

主な仕様

主装置

外線	外線数	最大6本
	収容回線	NTT加入電話回線・PBX内線・CES回線*
	ダイヤル方式	DP・PBのいずれも可 混合使用も可
内線	専用電話機配線方式	4線2対スター配線
	内線通話路	時分割PCM方式(ノンブロッキング方式)**
	専用電話機容量	16台(内8台はオプション)
	ファクシミリまたは単独電話機容量	3台(内2台はオプション)
	ドアホン容量	2個(オプションにて増設)
	ドア・カメラコントロール線	1本(ドアホンと同一オプション)
	構内放送/ベル拡声容量	1個(オプション) アンプコントロール付
	短縮ダイヤル容量	共通使用80個 各専用電話機毎10個
	ワンタッチダイヤル容量	各専用電話機毎10個(ハンズフリー機は9個)
	寸法	510(W)×169(D)×405(H)mm
重量	10.5kg	
消費電力	110W(最大)	
使用電源	AC100V±10%(仕向地 国内)	

- CES：事業所集団電話用交換機
- 以下の場合を除く
- ▲PB単独電話によるダイヤル中での、PB単独電話の発信、転送時。
- ▲外線・外線転送時のPB単独電話の発信、転送時。

専用電話機

専用電話機A (標準)	大きさ	180(W)×223(D)×80(H)mm
	重量	800g
	その他	
専用電話機B (LCD表示付)	大きさ	180(W)×223(D)×80(H)mm
	重量	850g
	その他	3桁漢字ディスプレイ 10桁数字ディスプレイ
専用電話機C (ハンズ・フリー)	大きさ	180(W)×223(D)×80(H)mm
	重量	850g
	その他	3桁漢字ディスプレイ 10桁数字ディスプレイ 外線・内線ハンズフリー
専用電話機D (停電用)	大きさ	180(W)×223(D)×80(H)mm
	重量	870g
	その他	3桁漢字ディスプレイ 10桁数字ディスプレイ
専用電話機E (FAXアダプター付)	大きさ	180(W)×223(D)×80(H)mm
	重量	850g
	その他	3桁文字ディスプレイ 10桁数字ディスプレイ

*仕様は改良のため予告なく変更することがあります。